

注3

大学番号：020

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

島根県立大学 人間文化学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人島根県立大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シュニンシュウジ サトウ ハナヨ  
主任主事 佐藤 華代

電話番号 0852-20-0216

(夜間) 0852-26-5525

F A X 0852-21-8150

e-mail m-kyoumu@u-shimane.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について  
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 人間文化学部

<保育教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	34

<地域文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	40
2. 授業科目の概要	44
3. 施設・設備の整備状況、経費	56
4. 既設大学等の状況	58
5. 教員組織の状況	60
6. 附帯事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	71

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人島根県立大学

## (2) 大学名

島根県立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

(〒697-0016)

(島根県浜田市野原町2433-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学部長	(イワタ エイサク) 岩田 英作 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ヤマシタ ユキエ) 山下 由紀恵 (平成30年4月1日)	(タカハシ タイドウ) 高橋 泰道 (平成31年4月1日)	任期満了のため交代 平成31年4月1日 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間文化学部 保育教育学科 学士(保育教育学)	教育学・保育学関係	4年	40人	4年次人	168人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40 (-) [-]	-	40 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	1.08倍	-	
志願者数	130 (-) [-]	-	132 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-			
受験者数	116 (-) [-]	-	116 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-			
合格者数	46 (-) [-]	-	45 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-			
B 入学者数	43 (-) [-]	-	44 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	1.07		1.10		-		-						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	43 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	44 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	
2年次	/		43 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	
3年次			/		/		- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]
4年次	/						/		- ( - ) [ - ]
計			43 [ - ] ( - )		87 [ - ] ( - )				- [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	43 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	87 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2							兼1
		心理学	1後	2							兼1
		音楽	2前	2							兼1
		文学	2後	2							兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2							兼1
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2							兼1
		社会学	1後	2							兼1
		現代経済学	2前	2							兼1
		生涯学習概論	2前	2							兼1
		日本国憲法	2後	2							兼1
	小計(5科目)	-	2	8	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と自然	人間と自然	1前	2							兼1
		脳科学と心	1後	2			1				
		生物と栄養	1後	2							兼1
		環境の科学	2後	2			1				
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	兼2
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1	1	1		兼9
		しまね文化論	1後	2							兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1							兼1
		小計(3科目)	-	2	3	0	1	1	1	0	0
	体育	健康スポーツ概論	1後	1			1				
		健康スポーツⅠ	1前	1			1				
		健康スポーツⅡ	2前	1			1				
		健康スポーツⅢ	3前	1							兼1
	小計(4科目)	-	2	2	0	1	0	0	0	0	兼1
	外国語	基礎中国語	3前	1							兼1
		中国語	3後	1							兼1
		基礎韓国語	3前	1							兼1
韓国語		3後	1							兼1	
基礎タイ語		3前	1							兼1	
タイ語		3後	1							兼1	
基礎インドネシア語		3前	1							兼1	
インドネシア語		3後	1							兼1	
小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
小計(29科目)	-	6	39	0	2	2	1	0	0	兼28	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナー	1前	1			5	7	3	1	
		表現とコミュニケーション	1前	1							兼3
		キャリア・プランニング	2後	1			5	7	3	1	兼2
		保育教育職インターンシップ	3後	2			4	7	3	1	兼2
	小計(4科目)	-	1	4	0	5	7	3	1	0	兼5
	リテラシー言語	英語Ⅰ	1前	1							兼1
		英語Ⅱ	1後	1							兼1
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1							兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2							兼1
	小計(4科目)	-	2	3	0	0	0	0	0	0	兼2
	リテラシー情報	情報機器の操作Ⅰ	1前	1							兼1
情報機器の操作Ⅱ		1後	1							兼1	
情報機器の操作Ⅲ		3前	1							兼1	
小計(3科目)		-	2	1	0	0	0	0	0	0	兼2
小計(11科目)	-	5	8	0	5	7	3	1	0	兼9	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2							兼1
		心理学	1後	2							兼1
		音楽	2前	2							兼1
		文学	2後	2							兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2							兼1
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2							兼1
		社会学	1後	2							兼1
		現代経済学	2前	2							兼1
		生涯学習概論	2前	2							兼1
		日本国憲法	2後	2							兼1
	小計(5科目)	-	2	8	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と自然	人間と自然	1前	2							兼1
		脳科学と心	1前	2				1			
		生物と栄養	1後	2							兼1
		環境の科学	2後	2			1				
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	兼2
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1	1	1		兼9
		しまね文化論	1後	2							兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1							兼1
		小計(3科目)	-	2	3	0	1	1	1	0	0
	体育	健康スポーツ概論	1後	1			1				
		健康スポーツⅠ	1前	1			1				
		健康スポーツⅡ	2前	1			1				
		健康スポーツⅢ	3前	1							兼1
	小計(4科目)	-	2	2	0	1	0	0	0	0	兼1
	外国語	基礎中国語	3前	1							兼1
		中国語	3後	1							兼1
		基礎韓国語	3前	1							兼1
韓国語		3後	1							兼1	
基礎タイ語		3前	1							兼1	
タイ語		3後	1							兼1	
基礎インドネシア語		3前	1							兼1	
インドネシア語		3後	1							兼1	
小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
小計(29科目)	-	6	39	0	2	2	1	0	0	兼28	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナー	1前	1			5	7	3	1	
		表現とコミュニケーション	1前	1							兼3
		キャリア・プランニング	2後	1			5	7	3	1	兼2
		保育教育職インターンシップ	3通	2			4	7	3	1	兼2
	小計(4科目)	-	1	4	0	5	7	3	1	0	兼5
	リテラシー言語	英語Ⅰ	1前	1							兼1
		英語Ⅱ	1後	1							兼1
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1							兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2							兼1
	小計(4科目)	-	2	3	0	0	0	0	0	0	兼2
	リテラシー情報	情報機器の操作Ⅰ	1前	1							兼1
情報機器の操作Ⅱ		1後	1							兼1	
情報機器の操作Ⅲ		3前	1							兼1	
小計(3科目)		-	2	1	0	0	0	0	0	0	兼2
小計(11科目)	-	5	8	0	5	7	3	1	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プロジェクト	表現研究（児童文化）Ⅰ	1前	2				2	1				兼3
	表現研究（児童文化）Ⅱ	2前	2				2	1				
	言葉研究（読み聞かせ実践）	1後	2					1				
	保育教育文献講読	3前		2			1		1			
	心理・教育統計調査法Ⅰ	3前		2			1					
	心理・教育統計調査法Ⅱ	3後		2			1					
	卒業研究基礎演習	3後	2			5	7	3	1			
	卒業研究	4通	4			5	7	3	1			
	小計（8科目）	-	12	6	0	5	7	3	1	0		
	教職の意義	教職論（小・幼）	1前	2			1					
小計（1科目）	-	2	0	0	1	0	0	0	0		兼1	
教育の基礎理論	教育原理（小・幼）	1後	2			1						兼1 兼1
	発達心理学Ⅰ	1前	2									
	発達心理学Ⅱ	1後		1								
	教育心理学（小・幼）	2前	2				1					
	障害児発達教育論	2前	2			1						
	インクルーシブ教育論	2後	1			1						
	教育制度論（小・幼）	2後	2						1			
小計（7科目）	-	11	1	0	2	1	0	1	0			
福祉と養護の基礎理論	保育原理	1前	2				1					兼1 兼1
	児童家庭福祉	1後	2				1					
	社会福祉概論	1前	2									
	社会的養護	1後	2				1					
小計（4科目）	-	8	0	0	0	2	0	0	0			
教育課程及び指導法	教育課程論（小・幼）	2前	2				1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	保育内容 健康	3後		2			1					
	保育内容 人間関係	3前		2			1					
	保育内容 環境	3前		2			1					
	保育内容 言葉	2前		2				1				
	保育内容 表現Ⅰ	2前		1			1					
	保育内容 表現Ⅲ	2後		1				1				
	保育内容総論Ⅰ	1後		1			1					
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2				1				
	初等社会科教育法	4前		2								
	初等算数科教育法	3前		2			1					
	初等理科教育法	3後		2			1					
	初等生活科教育法	3前		2								
	初等音楽科教育法	3後		2				1				
	初等図画工作科教育法	3後		2				1				
	初等家庭科教育法	4前		2								
	初等体育科教育法	3前		2								
	教育方法論（小・幼）	2後	2				1					
	道徳の指導法（小）	4前		2			1					
	特別活動の指導法（小）	3前		2								
小計（20科目）	-	4	33	0	4	3	2	0	0			
生徒指導・教育	幼児理解の理論と方法	2後		2		1						兼1
	教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前		2			1					
	生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2			1					
	小計（3科目）	-	2	4	0	1	1	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プロジェクト	表現研究（児童文化）Ⅰ	1前	2				2	1				兼3
	表現研究（児童文化）Ⅱ	2前	2				2	1				
	言葉研究（読み聞かせ実践）	1後	2					1				
	保育教育文献講読	3前		2			1		1			
	心理・教育統計調査法Ⅰ	3前		2			1					
	心理・教育統計調査法Ⅱ	3後		2			1					
	卒業研究基礎演習	3後	2			5	7	3	1			
	卒業研究	4通	4			5	7	3	1			
	小計（8科目）	-	12	6	0	5	7	3	1	0		
	教職の意義	教職論（小・幼）	1前	2			1					
小計（1科目）	-	2	0	0	1	0	0	0	0		兼1	
教育の基礎理論	教育原理（小・幼）	1後	2					1				兼1 兼1
	発達心理学Ⅰ	1前	2									
	発達心理学Ⅱ	1後		1								
	教育心理学（小・幼）	2前	2				1					
	障害児発達教育論	2前	2			1						
	インクルーシブ教育論	2後	1			1						
	教育制度論（小・幼）	2後	2						1			
小計（7科目）	-	11	1	0	2	1	0	1	0			
福祉と養護の基礎理論	保育原理	1前	2				1					兼1 兼1
	児童家庭福祉	1後	2				1					
	社会福祉概論	1前	2									
	社会的養護	1後	2				1					
小計（4科目）	-	8	0	0	0	2	0	0	0			
教育課程及び指導法	教育課程論（小・幼）	2前	2				1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	保育内容 健康	3後		2			1					
	保育内容 人間関係	3前		2			1					
	保育内容 環境	3前		2			1					
	保育内容 言葉	2前		2				1				
	保育内容 表現Ⅰ	2前		1			1					
	保育内容 表現Ⅲ	2後		1				1				
	保育内容総論Ⅰ	1後		1			1					
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2				1				
	初等社会科教育法	4前		2								
初等算数科教育法	3前		2			1						
初等理科教育法	3後		2			1						
初等生活科教育法	3前		2									
初等音楽科教育法	3後		2				1					
初等図画工作科教育法	3後		2				1					
初等家庭科教育法	4前		2									
初等体育科教育法	3前		2									
教育方法論（小・幼）	2後	2				1						
道徳の指導法（小）	4前		2			1						
特別活動の指導法（小）	3前		2									
小計（20科目）	-	4	33	0	4	3	2	0	0			
生徒指導・教育	幼児理解の理論と方法	2後		2		1						兼1
	教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前		2			1					
	生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2			1					
	小計（3科目）	-	2	4	0	1	1	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教科に関する科目	国語（書写を含む）	2前		2					1			兼1	
	社会	3後		2									
	算数	2後		2		1							
	理科	3前		2		1							
	生活	2後		2		1	1						
	音楽Ⅰ	1前		1				1					
	音楽Ⅱ	1後		1				1					
	図画工作Ⅰ	1前		1			1						
	図画工作Ⅱ	1後		1			1						
	家庭	3後		2									兼1
体育Ⅰ	1後		1		1								
体育Ⅱ	2前		1		1								
小計（12科目）	-	0	18	0	3	2	2	0	0		兼2		
総合演習	教職実践演習（小・幼）	4後		2		2	2	1					
	小計（1科目）	-	0	2	0	2	2	1	0	0			
に教科又はは科職	初等外国語教育法	2後		1								兼1	
	音楽基礎Ⅰ（ピアノ）	1通		1								兼3	
	音楽基礎Ⅱ（ピアノ）	2通		1								兼3	
	小計（3科目）	-	0	3	0	0	0	0	0	0		兼4	
教育実習	教育実習Ⅰ（幼稚園）指導	3前		1			1					兼1	
	教育実習Ⅰ（幼稚園）	3通		4			1					兼1	
	教育実習Ⅱ（小学校）指導	4前		1		2						兼1	
	教育実習Ⅱ（小学校）	4前		4		2						兼1	
	小計（4科目）	-	0	10	0	2	1	0	0	0		兼2	
福祉と養護の内容に関する科目	社会的養護内容	4前		1			1					兼1 兼1	
	相談援助演習	4前		1			1						
	家庭支援論	4後		2			1						
	保育相談支援	4前		1									
	子どもの保健ⅠA	2前		2				1					
	子どもの保健ⅠB	2後		2				1					
	子どもの保健Ⅱ	3前		1				1					
	救命救急法・応急手当法	4前		1				1					
	子どもの食と栄養	4後		2									兼1
	乳児保育	3前		2				1					
	障害児保育	3後		2		1	1						
音楽療法論	3後		1								兼1		
小計（12科目）	-	0	18	0	1	2	1	0	0		兼4		
保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）指導	1後		1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	1後		2			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）指導	2前		1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）	2前		2			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）指導	3前		1			1					兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）	3前		2			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）指導	4前		1			1					兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）	4前		2			1					兼1	
小計（8科目）	-	0	12	0	0	3	0	0	0		兼2		
小計（83科目）	-	39	107	0	5	7	3	1	0		兼36		
専門発展科目	教育史	3後		2		1						兼1	
	最新教育課題	4前		1		1							
	学校教育と文化・社会	4後		2		1							
	小計（3科目）	-	0	5	0	1	1	0	0	0			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	保育の計画と評価	2後		1				1					
	小計（14科目）	-	0	14	0	2	3	2	0	0		兼3	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語（書写を含む）	2前		2				1				兼1	
	社会	3後		2									
	算数	2後		2		1							
	理科	3前		2		1							
	生活	2後		2		1	1						
	音楽Ⅰ	1前	1					1					
	音楽Ⅱ	1後		1				1					
	図画工作	1前	1					1					
	家庭	3後		2									兼1
	体育	1後	1				1						兼1
	小学英語	2前		1									兼1
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2					1				兼1
	初等社会科教育法	4前		2									
	初等算数科教育法	3前		2		1							兼1
	初等理科教育法	3後		2		1							
	初等生活科教育法	3前		2									兼1
	初等音楽科教育法	3後		2					1				兼1
	初等図画工作科教育法	3後		2					1				兼1
	初等家庭科教育法	4前		2									兼1
	初等体育科教育法	3前		2									兼1
	初等外国語（英語）教育法Ⅰ	2前		1									兼1
	初等外国語（英語）教育法Ⅱ	2後		1									兼1
小計（22科目）	-	3	34	0	3	2	2	0	0		兼9		
道徳・総合的な学習の時間及び生徒指導・教育相談等に関する科目	道徳の指導法（小）	4前		2			1					兼1	
	小計（1科目）	-	0	2	0	1	0	0	0	0			
	総合的な学習の時間の指導法	3後		1			1						兼1
	小計（1科目）	-	0	1	0	1	0	0	0	0			
	特別活動の指導法（小）	3前		1									兼1
	小計（1科目）	-	0	2	0	0	0	0	0	0			
	教育の方法及び技術	2後	2				1						兼2
	小計（1科目）	-	2	0	0	0	0	0	0	0			
	生徒指導、導等に関する科目	2後		2			1						兼1
	幼児理解の理論と方法	2後		2			1						
教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前	2					1						
生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2					1			兼1		
小計（3科目）	-	2	4	0	1	1	0	0	0				
表現技術	音楽基礎Ⅰ（ピアノ）	1通		1								兼3	
	音楽基礎Ⅱ（ピアノ）	2通		1									
	小計（2科目）	-	0	2	0	0	0	0	0	0			
	小計（2科目）	-	0	2	0	0	0	0	0	0			兼3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展科目	教育課程及び指導法	保育内容総論Ⅱ	3後	1			1					兼1
		保育内容 表現Ⅱ	3後	1			1					兼1
		保育内容 表現Ⅳ	4前	1				1				兼1
		初等国語科授業研究	3前	2				1				兼1
		初等算数科授業研究	4前	2			1					兼1
		初等理科授業研究	4前	2			1					兼1
		初等体育科授業研究	4前	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	11	0	2	2	2	0	0		兼2
	教科に関する科目	小学算数	3後	2			1					
		小学理科	3後	2			1					
		音楽Ⅲ	3通	1				1				兼2
		音楽Ⅳ	4前	1								兼1
		小計(4科目)	-	0	6	0	2	0	1	0	0	
	司書教科目に関する科目	学校図書館論	4後	2								兼1
		学習指導と学校図書館	3後	2								兼1
		学校図書館メディアの構成	3前	2								兼1
		情報メディアの活用	4後	2								兼1
		小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	
	特別支援教育に関する科目	知的障害児の心理	3前	2			1	1				
知的障害児の生理・病理		3前	2								兼1	
肢体不自由児の心理・生理・病理		2前	2								兼1	
病弱児の心理・生理・病理		2前	2								兼1	
知的障害児指導論		3前	2				1				兼1	
肢体不自由児指導論		2後	2				1				兼1	
病弱児指導論		2後	2			1		1			兼2	
知的障害児教育特論		3後	2				1				兼1	
重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理		2後	2				2				兼1	
視覚障害児教育総論		2後	2				1				兼1	
発達障害児教育総論		3後	2			1	2				兼1	
発達障害児教育特論		4前	2				1				兼1	
情緒障害児教育総論		3後	2			1					兼1	
発達アセスメント		3前	1			1					兼1	
特別支援教育アセスメント		3前	1			1	2				兼1	
特別支援学校教育実習A指導		4前	1				2				兼1	
特別支援学校教育実習A		4前	2				2				兼1	
特別支援学校教育実習B指導		4後	1				2				兼1	
特別支援学校教育実習B		4後	2				2				兼1	
小計(19科目)	-	0	34	0	1	2	1	0	0		兼6	
小計(37科目)	-	0	64	0	4	5	3	0	0		兼14	
合計(160科目)	-	50	218	0	5	7	3	1	0		兼70	
卒業要件及び履修方法												
【卒業要件】 学部共通基礎科目から必修科目6単位を含む16単位以上を履修。 学科基礎科目から必修科目5単位を含む6単位以上を履修。 専門基幹科目及び専門発展科目から必修科目39単位を含む102単位以上を履修。												
【履修方法】 次の選択科目を履修すること。 ・[教養科目][しあの文化]から8単位以上を履修。 ・[体育][外国語]から2単位以上を履修。 ・学科基礎科目から1単位以上を履修。 ・専門基幹科目及び専門発展科目から63単位以上を履修。												
合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展科目	教育実践に関する科目	教育実習Ⅰ(幼稚園)指導	3前	1			1					兼1
		教育実習Ⅰ(幼稚園)	3通	4			1					兼1
		教育実習Ⅱ(小学校)指導	4前	1			2					兼1
		教育実習Ⅱ(小学校)	4前	4			2					兼1
		教職実践演習(小・幼)	4後	2			2	2	1			
	小計(5科目)	-	0	12	0	2	2	1	0	0		兼2
	福祉と養護の内容に関する科目	社会的養護Ⅱ	4前	1			1					
		子ども家庭支援の心理学	4前	2			1					兼1
		子ども家庭支援論	4後	2			1					兼1
		子育て支援	4前	1								兼1
		子どもの保健	2前	2					1			兼1
		子どもの健康と安全	2後	1					1			兼1
		救命救急法・応急手当法	4前	1					1			兼1
		子どもの食と栄養	4後	2								兼1
		乳児保育Ⅰ	2後	2					1			兼1
		乳児保育Ⅱ	3前	1								兼1
		障害児保育	3後	2			1	1				兼1
		音楽療法論	3後	1								兼1
	小計(12科目)	-	0	18	0	1	2	1	0	0		兼6
保育実習	保育実習Ⅰ(保育所)指導	1後	1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ(保育所)	1後	2			1					兼1	
	保育実習Ⅰ(施設)指導	2前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅰ(施設)	2前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅱ(保育所)指導	3前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅱ(保育所)	3前	2			1					兼1	
	保育実習Ⅲ(施設)指導	4前	1			1					兼1	
	保育実習Ⅲ(施設)	4前	2			1					兼1	
小計(8科目)	-	0	12	0	0	3	0	0	0		兼2	
小計(91科目)	-	43	106	0	5	7	3	1	0		兼33	
教育の理念・歴史・思想的・経営的事項・制度	教育史	3後	2			1						
	最新教育課題	4前	1			1					兼1	
	小計(2科目)	-	0	3	0	1	0	0	0	0	兼1	
	学校教育と文化・社会	4後	2			1						
小計(1科目)	-	0	2	0	0	1	0	0	0			
領域法に関する科目と指導	保育内容総論Ⅱ	3後	1			1						
	幼児と造形表現Ⅱ	2前	1			1					兼1	
	保育内容・造形表現の指導法Ⅱ	2前	1			1					兼1	
	幼児と音楽表現Ⅱ	4前	1					1			兼1	
	保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ	4前	1					1			兼1	
小計(5科目)	-	0	5	0	0	2	1	0	0		兼1	
教科及び教科の指導法に関する科目	初等国語科授業研究	3前	2					1				
	初等算数科授業研究	4前	2				1					
	初等理科授業研究	4前	2				1					
	初等体育科授業研究	4前	2								兼1	
	小学国語	4前	2						1			
	小学算数	3後	2			1						
	小学理科	3後	2			1						
	音楽Ⅲ	3通	1					1			兼2	
	音楽Ⅳ	4前	1								兼1	
小計(9科目)	-	0	16	0	2	0	2	0	0		兼3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
司書教諭に関する科目	学校図書館論	2前		2								兼1
	学習指導と学校図書館	3後		2								兼1
	学校図書館メディアの構成	2後		2								兼1
	情報メディアの活用	3後		2								兼1
	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼2
特別支援教育領域に関する科目	知的障害児の心理	3前		2		1	1					兼1
	知的障害児の生理・病理	3前		2								兼1
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2前		2								兼1
	病弱児の心理・生理・病理	2前		2								兼1
	知的障害児指導論	3前		2			1					
	肢体不自由児指導論	2後		2			1					
	病弱児指導論	2後		2		1		1				兼2
	知的障害児教育演習	3後		2			1					
	小計(8科目)	-	0	16	0	1	2	1	0	0	0	兼5
免許法に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理	2後		2			2					兼1
	視覚障害児教育総論	2後		2			1					
	聴覚障害児教育総論	2前		2								兼2
	発達障害児教育総論	3後		2		1	2					
	発達障害児教育特論	4前		2			1					
	情緒障害児教育総論	3後		2		1						
	発達アセスメント	3前		1		1						兼1
	特別支援教育アセスメント	3前		1		1	2					
	小計(8科目)	-	0	14	0	1	2	0	0	0	0	兼4
心身に障害のある幼児、児童又は生徒について	特別支援学校教育実習A指導	4前		1			2					
	特別支援学校教育実習A	4前		2			2					
	特別支援学校教育実習B指導	4後		1			2					
	特別支援学校教育実習B	4後		2			2					
	小計(4科目)	-	0	6	0	0	2	0	0	0	0	
	小計(41科目)	-	0	70	0	4	5	3	0	0	0	兼14
合計(172科目)			-	54	223	0	5	7	3	1	0	兼77
卒業要件及び履修方法												
<b>【卒業要件】</b> 学部共通基礎科目から必修科目6単位を含む16単位以上を履修。 学科基礎科目から必修科目5単位を含む6単位以上を履修。 専門基幹科目及び専門発展科目から必修科目45単位を含む102単位以上を履修。												
<b>【履修方法】</b> 次の選択科目を履修すること。 ・[教養科目][しまねの文化]から8単位以上を履修。 ・[体育][外国語]から2単位以上を履修。 ・学科基礎科目から1単位以上を履修。 ・専門基幹科目及び専門発展科目から57単位以上を履修。												
合計124単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：46単位(年間))												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2								兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	2前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	小計(5科目)	-	2	8	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2			1					
		生物と栄養	1後	2								兼1
		環境の科学	2後	2			1					
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	0	兼2
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1	1	1			兼8
		しまね文化論	1後	2								兼1
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
		小計(3科目)	-	2	3	0	1	1	1	0	0	0
	体育	健康スポーツ概論	1後	1			1					
		健康スポーツⅠ	1前	1			1					
		健康スポーツⅡ	2前	1			1					兼1
		健康スポーツⅢ	3前	1								兼1
	小計(4科目)	-	2	2	0	1	0	0	0	0	0	兼1
	外国語	基礎中国語	3前	1								兼1
		中国語	3後	1								兼1
		基礎韓国語	3前	1								兼1
韓国語		3後	1								兼1	
基礎タイ語		3前	1								兼1	
タイ語		3後	1								兼1	
基礎インドネシア語		3前	1								兼1	
インドネシア語		3後	1								兼1	
小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
小計(29科目)	-	6	39	0	2	2	1	0	0	0	兼27	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナー	1前	1			4	7	3	1		
		表現とコミュニケーション	1前	1								兼3
		キャリア・プランニング	2後	1			4	7	3	0		兼2
		保育教育職インターンシップ	3後	2			3	7	3	0		兼2
	小計(4科目)	-	1	4	0	4	7	3	1	0	0	兼5
	リテラシー言語	英語Ⅰ	1前	1								兼1
		英語Ⅱ	1後	1								兼1
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1								兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2								兼1
	小計(4科目)	-	2	3	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	リテラシー情報	情報機器の操作Ⅰ	1前	1								兼1
情報機器の操作Ⅱ		1後	1								兼1	
情報機器の操作Ⅲ		3前	1								兼1	
小計(3科目)		-	2	1	0	0	0	0	0	0	0	兼2
小計(11科目)	-	5	8	0	4	7	3	1	0	0	兼9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目	プロジェクト 基幹研究	表現研究（児童文化）Ⅰ	1前	2				2	1			兼3
		表現研究（児童文化）Ⅱ	2前	2				2	1			
		言葉研究（読み聞かせ実践）	1後	2					1			
		保育教育文献講読	3前		2			1		1		
		心理・教育統計調査法Ⅰ	3前		2			1				
		心理・教育統計調査法Ⅱ	3後		2			1				
		卒業研究基礎演習	3後	2			4	7	3	1		
		卒業研究	4通	4			4	7	3	1		
	小計（8科目）	-	12	6	0	4	7	3	1	0	兼3	
	教職の意義	教職論（小・幼）	1前	2			1					兼1
		小計（1科目）	-	2	0	0	1	0	0	0	0	兼1
	教育の基礎理論	教育原理（小・幼）	1後	2			1					兼1 兼1 兼3 兼4
		発達心理学Ⅰ	1前	2								
		発達心理学Ⅱ	1後		1							
		教育心理学（小・幼）	2前	2				1				
		障害児発達教育論	2前	2			2					
		インクルーシブ教育論	2後	1			1					
		教育制度論（小・幼）	2後	2						1		
	小計（7科目）	-	11	1	0	2	1	0	1	0	兼4	
	福祉と養護の基礎理論	保育原理	1前	2				1				兼1 兼1 兼1
児童家庭福祉		1後	2				1					
社会福祉概論		1前	2									
社会的養護		1後	2				1					
小計（4科目）		-	8	0	0	0	2	0	0	0	兼1	
教育課程及び指導法	教育課程論（小・幼）	2前	2				1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼12	
	保育内容 健康	3後		2		1						
	保育内容 人間関係	3前		2			1					
	保育内容 環境	3前		2		1						
	保育内容 言葉	2前		2				1				
	保育内容 表現Ⅰ	2前		1			1					
	保育内容 表現Ⅲ	2後		1				1				
	保育内容総論Ⅰ	1後		1			1					
	初等国語科教育法（書写を含む）	2後		2				1				
	初等社会科教育法	4前		2								
	初等算数科教育法	3前		2		0						
	初等理科教育法	3後		2		1						
	初等生活科教育法	3前		2								
	初等音楽科教育法	3後		2				1				
	初等図画工作科教育法	3後		2			1					
	初等家庭科教育法	4前		2								
	初等体育科教育法	3前		2								
	教育方法論（小・幼）	2後	2			1						
道徳の指導法（小）	4前		2		1							
特別活動の指導法（小）	3前		2									
小計（20科目）	-	4	33	0	3	3	2	0	0	兼12		
生徒指導等・教育	幼児理解の理論と方法	2後		2		1					兼1	
	教育相談の基礎と方法（小・幼）	3前		2			1					
	生徒・進路指導の理論と方法（小）	3後		2			1					
	小計（3科目）	-	2	4	0	1	1	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基幹科目	教科に関する科目	国語（書写を含む）	2前	2				1				兼1
		社会	3後	2								兼1
		算数	2後	2			0					
		理科	3前	2			1					
		生活	2後	2			1	1				
		音楽Ⅰ	1前	1					1			
		音楽Ⅱ	1後	1					1			
		図画工作Ⅰ	1前	1				1				
		図画工作Ⅱ	1後	1				1				
		家庭	3後	2								兼1
		体育Ⅰ	1後	1			1					
		体育Ⅱ	2前	1			1					
	小計（12科目）	-	0	18	0	3	2	2	0	0	0	兼3
	総合演習	教職実践演習（小・幼）	4後	2			1	2	1			
		小計（1科目）	-	0	2	0	1	2	1	0	0	
	に教科又はは教職	初等外国語教育法	2後	1								兼1
		音楽基礎Ⅰ（ピアノ）	1通	1								兼3
		音楽基礎Ⅱ（ピアノ）	2通	1								兼3
		小計（3科目）	-	0	3	0	0	0	0	0	0	兼4
	教育実習	教育実習Ⅰ（幼稚園）指導	3前	1				1				兼1
		教育実習Ⅰ（幼稚園）	3通	4				1				兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）指導	4前	1			1					兼1
		教育実習Ⅱ（小学校）	4前	4			1					兼1
		小計（4科目）	-	0	10	0	1	1	0	0	0	兼2
	福祉と養護の内容に関する科目	社会的養護内容	4前	1				1				
		相談援助演習	4前	1				1				
		家庭支援論	4後	2				1				兼1
		保育相談支援	4前	1								兼1
		子どもの保健ⅠA	2前	2					1			
		子どもの保健ⅠB	2後	2					1			
		子どもの保健Ⅱ	3前	1					1			
		救命救急法・応急手当法	4前	1					1			
		子どもの食と栄養	4後	2								兼1
乳児保育		3前	2					1				
障害児保育		3後	2			1	1					
音楽療法論		3後	1								兼1	
小計（12科目）	-	0	18	0	1	2	1	0	0	0	兼4	
保育実習	保育実習Ⅰ（保育所）指導	1後	1				1				兼1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	1後	2				1				兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）指導	2前	1				1				兼1	
	保育実習Ⅰ（施設）	2前	2				1				兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）指導	3前	1				1				兼1	
	保育実習Ⅱ（保育所）	3前	2				1				兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）指導	4前	1				1				兼1	
	保育実習Ⅲ（施設）	4前	2				1				兼1	
	小計（8科目）	-	0	12	0	0	3	0	0	0	0	兼2
小計（83科目）	-	39	107	0	4	7	3	1	0	0	兼37	
専門発展科目	教育の基礎理論	教育史	3後	2			1					
		最新教育課題	4前	1			1					兼1
		学校教育と文化・社会	4後	2				1				
		小計（3科目）	-	0	5	0	2	1	0	0	0	兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展科目	教育課程及び指導法	保育内容総論Ⅱ	3後	1			1					
		保育内容 表現Ⅱ	3後	1			1					
		保育内容 表現Ⅳ	4前	1					1			兼1
		初等国語科授業研究	3前	2						1		
		初等算数科授業研究	4前	2			0					
		初等理科授業研究	4前	2			1					
		初等体育科授業研究	4前	2								兼1
	小計(7科目)	-	0	11	0	1	2	2	0	0	兼2	
	教科に関する科	小学算数	3後	2			0					
		小学理科	3後	2			1					
		音楽Ⅲ	3通	1					1			兼2
		音楽Ⅳ	4前	1								兼1
		小計(4科目)	-	0	6	0	1	0	1	0	0	兼2
	司書科論に関する科	学校図書館論	4後	2								兼1
		学習指導と学校図書館	3後	2								兼1
		学校図書館メディアの構成	3前	2								兼1
		情報メディアの活用	4後	2								兼1
		小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	兼2
	特別支援教育に関する科目	知的障害児の心理	3前	2			1	1				
		知的障害児の生理・病理	3前	2								兼1
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2前	2								兼1
		病弱児の心理・生理・病理	2前	2								兼1
		知的障害児指導論	3前	2				1				
		肢体不自由児指導論	2後	2				1				
		病弱児指導論	2後	2			1		1			兼2
		知的障害児教育演習	3後	2				1				
		重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理	2後	2				2				兼1
		視覚障害児教育総論	2後	2				1				
		聴覚障害児教育総論	2前	2								兼2
		発達障害児教育総論	3後	2			1	2				
		発達障害児教育演習	4前	2				1				
		情緒障害児教育総論	3後	2			1					
		発達アセスメント	3前	1			1					兼1
		特別支援教育アセスメント	3前	1			1	2				
		特別支援学校教育実習A指導	4前	1				2				
		特別支援学校教育実習A	4前	2				2				
		特別支援学校教育実習B指導	4後	1				2				
特別支援学校教育実習B	4後	2				2						
小計(19科目)	-	0	36	0	1	2	1	0	0	兼6		
小計(37科目)	-	0	66	0	3	5	3	0	0	兼14		
合計(160科目)	-	50	220	0	4	7	3	1	0	兼70		

卒業要件及び履修方法

**【卒業要件】**  
 学部共通基礎科目から必修科目6単位を含む16単位以上を履修。  
 学科基礎科目から必修科目5単位を含む6単位以上を履修。  
 専門基幹科目及び専門発展科目から必修科目39単位を含む102単位以上を履修。

**【履修方法】**  
 次の選択科目を履修すること。  
 ・[教養科目][しまねの文化]から8単位以上を履修。  
 ・[体育][外国語]から2単位以上を履修。  
 ・学科基礎科目から1単位以上を履修。  
 ・専門基幹科目及び専門発展科目から63単位以上を履修。

合計124単位以上を修得すること。  
 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・廣瀬教授の就任辞退により、以下のとおり教員配置を変更
  - ※「教授1」から「教授0」に変更…「初等算数科教育法」「算数」「初等算数科授業研究」「小学算数」
  - ※「教授5」から「教授4」に変更…「スタートアップセミナー」「キャリア・プランニング」「卒業研究基礎演習」「卒業研究」
  - ※「教授4」から「教授3」に変更…「保育教育職インターンシップ」
  - ※「教授2」から「教授1」に変更…「教職実践演習（小・幼）」「教育実習Ⅱ（小学校）指導」「教育実習Ⅱ（小学校）」
- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり教員配置を変更
  - ※「教授1」から「教授2」に変更…「障害児発達教育論」
- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり科目名称を変更
  - ※「知的障害児教育特論」を「知的障害児教育演習」に変更
  - ※「発達障害児教育特論」を「発達障害児教育演習」に変更
- ・教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更
  - ※「講師1」から「講師1、兼1」に変更…「初等国語科教育法（書写を含む）」「国語（書写を含む）」
  - ※「助教1」から「助教0」に変更…「キャリアプランニング」「保育教育職インターンシップ」
- ・兼任教員の変更に伴う配置変更
  - ※「兼11」から「兼10」に変更…「しまね地域共生学入門」

【令和元年度】

- ・廣田教授の退職に伴う後任教員（時津教授）採用により、「教育方法論（小・幼）」の科目内容を変更し、兼任教員1名を追加。
- ・教職課程再課程認定及び保育士養成施設カリキュラム変更に伴い科目区分を変更。
- ・教職課程再課程認定に伴い以下のとおり科目を変更。
  - ※「インクルーシブ教育論」の名称を「特別支援教育とインクルーシブ教育論」に変更。
  - ※「保育内容 健康」を変更し、「幼児と健康」を新設、「保育内容・健康の指導法」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 人間関係」を変更し、「幼児と人間関係」を新設、「保育内容・人間関係の指導法」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 環境」を変更し、「幼児と環境」を新設、「保育内容・環境の指導法」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 言葉」を変更し、「幼児と言葉」を新設、「保育内容・言葉の指導法」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 表現Ⅰ」を変更し、「幼児と造形表現Ⅰ」を新設、「保育内容・造形表現の指導法Ⅰ」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 表現Ⅲ」を変更し、「幼児と音楽表現Ⅰ」を新設、「保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ」に科目名称・内容を変更。
  - ※「図画工作Ⅰ」「図画工作Ⅱ」を統合し、「図画工作」に変更。
  - ※「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」を統合し、「体育」に変更。
  - ※「小学英语」を新設。
  - ※「初等外国語教育法」の名称を「初等外国語（英語）教育法Ⅰ」に変更。
  - ※「初等外国語（英語）教育法Ⅱ」を新設。
  - ※「総合的な学習の時間の指導法」を新設。
  - ※「特別活動の指導法（小）」を2単位から1単位へ変更。
  - ※「保育内容 表現Ⅱ」を変更し、「幼児と造形表現Ⅱ」を新設、「保育内容・造形表現の指導法Ⅱ」に科目名称・内容を変更。
  - ※「保育内容 表現Ⅳ」を変更し、「幼児と音楽表現Ⅱ」を新設、「保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ」に科目名称・内容を変更。
  - ※「小学国語」を新設。
- ・保育士養成施設カリキュラム変更に伴い以下のとおり科目を変更。
  - ※「発達心理学Ⅱ」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
  - ※「児童家庭福祉」の科目名称を「子ども家庭福祉」に変更。
  - ※「社会的養護」の科目名称を「社会的養護Ⅰ」に変更。
  - ※「保育の計画と評価」を新設。
  - ※「社会的養護内容」の科目名称を「社会的養護Ⅱ」に変更。
  - ※「相談援助演習」の科目内容を変更し、名称を「子ども家庭支援の心理学」に変更。
  - ※「家庭支援論」の科目名称を「子ども家庭支援論」に変更。
  - ※「保育相談支援」の科目名称を「子育て支援」に変更。
  - ※「子どもの保健ⅠA」「子どもの保健ⅠB」を統合し、「子どもの保健」に変更。
  - ※「子どもの保健Ⅱ」の科目名称を「子どもの健康と安全」に変更し、科目内容を一部変更し、兼任教員1名を追加。
  - ※「救命救急法・応急手当法」の科目内容を一部変更し、兼任教員1名を追加。
  - ※「乳児保育」を廃止し、「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」を新設。
- ・教職課程再課程認定等に伴うカリキュラムの大幅変更等により以下のとおり変更。
  - ※「脳科学と心」…「1年次後期」から「1年次前期」に変更。
  - ※「保育教育職インターンシップ」…「3年次後期」から「3年次通年」に変更。
- ・司書教諭資格申請時期（4年次前期）を踏まえ関連する科目の配当年次を以下のとおり変更。
  - ※「学校図書館論」…「4年次後期」から「2年次前期」に変更。
  - ※「学校図書館メディアの構成」…「3年次前期」から「2年次後期」に変更。
  - ※「情報メディアの活用」…「4年次後期」から「3年次後期」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	132 科目	0 科目	160 科目	33 科目 [ 5 ]	139 科目 [ 7 ]	0 科目 [ ]	172 科目 [ 12 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{172} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	島根県立大学短期大学 部（必要面積48,416 ㎡）と共用			
	校舎敷地	83,452 ㎡	65,819 ㎡	㎡	149,271 ㎡				
	運動場用地	75,726 ㎡	6,367 ㎡	㎡	82,093 ㎡				
	小 計	159,178 ㎡	72,186 ㎡	㎡	231,364 ㎡				
	そ の 他	63,715 ㎡	30,324 ㎡	㎡	94,039 ㎡				
	合 計	222,893 ㎡	102,510 ㎡	㎡	325,403 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	島根県立大学短期大学 部（必要面積15,537 ㎡）と共用				
	( 30,073 ㎡ )	( 19,608 ㎡ )	( 467 ㎡ )	( 50,148 ㎡ )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	48 室	62 室	43 室	4 室 (補助職員 - 人)	2 室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間文化学部 保育教育学科			17 16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の教育環境整備に伴う図書整備の前倒しによる図書・雑誌・視聴覚資料の増(30)</li> <li>・学生の教育環境整備に伴う図書整備の前倒しによる図書・雑誌・視聴覚資料・機械・器具・標本の増(元)</li> <li>・電子ジャーナル3件のうち1件について、文献検索システムを誤計上していたことによる減(30)</li> </ul>	
	人間文化学部 保育教育学科	20,588 [790] <del>(20,233 [597])</del> <del>-(20,173 [774])</del>	6 [0] <del>(11 [0])</del> <del>-(10 [0])</del> <del>-(5 [0])</del>	3 [0] (2 [0]) <del>-(3 [0])</del>	532 <del>(550)</del> <del>-(547)</del> <del>-(526)</del>	58 <del>(61)</del> <del>-(49)</del>	2 <del>(6)</del> <del>-(0)</del>		
	計	20,588 [790] <del>(20,233 [597])</del> <del>-(20,173 [774])</del>	6 [0] <del>(11 [0])</del> <del>-(10 [0])</del> <del>-(5 [0])</del>	3 [0] (2 [0]) <del>-(3 [0])</del>	532 <del>(550)</del> <del>-(547)</del> <del>-(526)</del>	58 <del>(61)</del> <del>-(49)</del>	2 <del>(6)</del> <del>-(0)</del>		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	6,047 ㎡	355 席	625,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,033 ㎡	テニスコート7面、ゴルフ練習場10打席、アスレチックルーム1室							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究費増に伴う教員個人研究費配分額の減(30)</li> <li>・職位に基づく配分額の減に伴う教員個人研究費配分額の減(元)</li> <li>・学生の教育環境整備に伴う図書購入費の増(30)</li> <li>・学生の教育環境整備に伴う図書購入費の増(元)</li> </ul>
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	692 千円 <del>763 千円</del> 772 千円	772 千円	図書購入費	10,811 千円	4,388 千円 <del>3,681 千円</del> 1,741 千円	7,184 千円	
	共同研究費等	2,000 千円 <del>9,394 千円</del> 8,716 千円	8,716 千円	設備購入費	15,965 千円	135,156 千円 <del>132,296 千円</del> 25,514 千円	1,000 千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部で一括管理・分配するよう取扱いが変更になったことによる共同研究費等の減(元)</li> <li>・設置団体(県)特殊要因補助金(施設整備関係)の増による設備購入費の増(30)</li> <li>・設置団体(県)特殊要因補助金(施設整備関係)の増による設備購入費の増(元)</li> </ul>	
学生納付金以外の維持方法の概要		大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	島根県立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
人間文化学部	4	110	3年次7人	454		1.07	-	平成30年度	島根県松江市浜乃木7-24-2	
保育教育学科	4	40	3年次4人	168	学士 (保育教育学)	1.08	-	平成30年度		
地域文化学科	4	70	3年次3人	286	学士 (地域文化学)	1.06	-	平成30年度		
総合政策学部	4	220	3年次10人	900	学士 (総合政策学)	1.10	-	平成12年度	島根県浜田市野原町2433-2	
総合政策学科	4	220	3年次10人	900	学士 (総合政策学)	1.10	-	平成12年度		
看護栄養学部	4	120	3年次9人	498		1.03	-	平成30年度	島根県出雲市西林木町151	
看護学科	4	80	3年次6人	332	学士 (看護学)	1.03	-	平成24年度		
健康栄養学科	4	40	3年次3人	166	学士 (健康栄養学)	1.03	-	平成30年度		
大学院									島根県浜田市野原町2433-2	
北東アジア開発研究科 〔博士前期課程〕	2	10	-	20		0.53	-	平成21年度		
北東アジア専攻	2	5	-	10	修士 (社会学)	0.70	-	平成21年度		
地域開発政策専攻 〔博士後期課程〕	2	5	-	10	修士 (開発研究学)	0.10	-	平成21年度		
北東アジア超域専攻	3	2	-	6	博士 (社会学)	0.80	-	平成21年度		
看護学研究科 〔博士前期課程〕	2	5	-	10	修士 (看護学)	1.20	-	平成28年度	島根県出雲市西林木町151	
看護学専攻 〔博士後期課程〕	3	2	-	6	博士 (看護学)	1.00	-	平成31年度		
大学全体	4	469	31	1,894	-	0.96	-	-	-	

  

大学の名称	島根県立大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
健康栄養学科	2	-	-	-	短期大学士 (健康栄養学)	-	-	平成19年度	島根県松江市浜乃木7-24-2	平成30年度より 学生募集停止
保育学科	2	40	-	80	短期大学士 (保育学)	1.04	-	平成19年度		平成30年度より 入学定員変更(50 →40)
総合文化学科	2	40	-	80	短期大学士 (総合文化学)	1.08	-	平成19年度		平成30年度より 入学定員変更 (140→40)
大学全体	2	80	-	160	-	1.06	-	-		-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化学部 保育教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	廣瀬 隆司 (66(高)) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 初等算数科教育法 算数 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等算数科授業研究 小学算数
専	教授	山下 由紀恵 (63) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ
専	教授	園山 繁樹 (62(高)) <平成31年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児発達教育論 インクルーシブ教育論 ※ 幼児理解の理論と方法 ※ 障害児保育 ※ 知的障害児の心理 ※ 病弱児指導論 ※ 発達障害児教育総論 ※ 情緒障害児教育総論 ※ 発達アセスメント ※ 特別支援教育アセスメント ※
専	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月>	しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 健康 ※  体育Ⅰ 体育Ⅱ
専	教授	廣田 佳彦 (60) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 卒業研究基礎演習 卒業研究 教職論(小・幼) ※ 教育原理(小・幼) 教育方法論(小・幼) ※ 道徳の指導法(小) 教育史 最新教育課題 ※
専	教授	高橋 泰道 (57) <平成30年4月>	環境の科学 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 環境 ※ 初等理科教育法 理科 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等理科授業研究 小学理科

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	山下 由紀恵 (63) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 障害児発達教育論 ※
専	教授	園山 繁樹 (62(高)) <平成31年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児発達教育論 ※ インクルーシブ教育論 ※ 幼児理解の理論と方法 ※ 障害児保育 ※ 知的障害児の心理 ※ 病弱児指導論 ※ 発達障害児教育総論 ※ 情緒障害児教育総論 ※ 発達アセスメント ※ 特別支援教育アセスメント ※
専	教授	岸本 強 (61) <平成30年4月>	しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 健康 ※  体育Ⅰ 体育Ⅱ
専	教授	廣田 佳彦 (60) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 卒業研究基礎演習 卒業研究 教職論(小・幼) ※ 教育原理(小・幼) 教育方法論(小・幼) ※ 道徳の指導法(小) 教育史 最新教育課題 ※
専	教授	高橋 泰道 (57) <平成30年4月>	環境の科学 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 環境 ※ 初等理科教育法 理科 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等理科授業研究 小学理科

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	青藤 一弥 (60) <平成30年10月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 初等算数科教育法 算数 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等算数科授業研究 小学算数
専	教授	山下 由紀恵 (64) <平成30年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 障害児発達教育論 ※
専	教授	園山 繁樹 (63(高)) <平成31年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児発達教育論 ※ 特別支援教育とインクルーシブ教育論 ※ 幼児理解の理論と方法 ※ 障害児保育 ※ 知的障害児の心理 ※ 病弱児指導論 ※ 発達障害児教育総論 ※ 情緒障害児教育総論 ※ 発達アセスメント ※ 特別支援教育アセスメント ※
専	教授	岸本 強 (62) <平成30年4月>	しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 幼児と健康 ※ 保育内容・健康の指導法 ※ 体育
専	教授	時津 啓 (44) <平成31年4月>	スタートアップセミナー キャリア・プランニング 卒業研究基礎演習 卒業研究 教職論(小・幼) ※ 教育原理(小・幼) 教育方法論(小・幼) ※ 道徳の指導法(小) 教育史 最新教育課題 ※
専	教授	高橋 泰道 (58) <平成30年4月>	環境の科学 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 幼児と環境 初等理科教育法 理科 生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校) 初等理科授業研究 小学理科 総合的な学習の時間の指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 児童家庭福祉 ※ 社会的養護 社会的養護内容 相談援助演習 家庭支援論 ※ 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
専	准教授	小山(小野) 優子 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育原理 教育課程論(小・幼) 保育内容総論Ⅰ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論Ⅱ
専	准教授	西村 健一 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児保育 ※ 知的障害児指導論 肢体不自由児指導論 知的障害児教育特論 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 発達障害児教育総論 ※ 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年4月>
		脳科学と心 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 知的障害児の心理 ※ 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 視覚障害児教育総論 発達障害児教育総論 ※ 発達障害児教育特論 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	福井 一尊 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅰ  初等図画工作科教育法 ※ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容 表現Ⅱ
専	准教授	矢島 毅昌 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 人間関係  生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所) 学校教育と文化・社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 映久 (48) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 児童家庭福祉 ※ 社会的養護 社会的養護内容 相談援助演習 家庭支援論 ※ 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
専	准教授	小山(小野) 優子 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育原理 教育課程論(小・幼) 保育内容総論Ⅰ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論Ⅱ
専	准教授	西村 健一 (45) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児保育 ※ 知的障害児指導論 肢体不自由児指導論 知的障害児教育演習 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 発達障害児教育総論 ※ 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	内山 仁志 (42) <平成30年4月>
		脳科学と心 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 知的障害児の心理 ※ 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 視覚障害児教育総論 発達障害児教育総論 ※ 発達障害児教育演習 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	福井 一尊 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅰ  初等図画工作科教育法 ※ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容 表現Ⅱ
専	准教授	矢島 毅昌 (41) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 人間関係  生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所) 学校教育と文化・社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 映久 (49) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 児童家庭福祉 ※ 社会的養護Ⅰ 社会的養護Ⅱ 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭支援論 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
専	准教授	小山(小野) 優子 (46) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育原理 教育課程論(小・幼) 保育内容総論Ⅰ 教職実践演習(小・幼) 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育内容総論Ⅱ 保育の計画と評価
専	准教授	西村 健一 (46) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 障害児保育 ※ 知的障害児指導論 肢体不自由児指導論 知的障害児教育演習 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 発達障害児教育総論 ※ 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	内山 仁志 (43) <平成30年4月>
		脳科学と心 スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 知的障害児の心理 ※ 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※ 視覚障害児教育総論 発達障害児教育総論 ※ 発達障害児教育演習 特別支援教育アセスメント ※ 特別支援学校教育実習A指導 特別支援学校教育実習A 特別支援学校教育実習B指導 特別支援学校教育実習B
専	准教授	福井 一尊 (42) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅰ  初等図画工作科教育法 ※ 図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ 保育内容 表現Ⅱ  幼児と造形表現Ⅰ 保育内容・造形表現の指導法Ⅰ 初等図画工作科教育法 ※ 図画工作  幼児と造形表現Ⅱ 保育内容・造形表現の指導法Ⅱ
専	准教授	矢島 毅昌 (42) <平成30年4月>
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 人間関係  生活 ※ 教職実践演習(小・幼) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所) 学校教育と文化・社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山田 洋平 (35) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育心理学(小・幼) 教育相談の基礎と方法(小・幼) 生徒・進路指導の理論と方法(小) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所)
専	講師	前林 英貴 (46) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 子どもの保健ⅠA 子どもの保健ⅠB 子どもの保健Ⅱ 救命救急法・応急手当法 乳児保育 病弱児指導論 ※
専	講師	梶間 奈保 (34) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅲ ※  初等音楽科教育法 ※ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 保育内容 表現Ⅳ ※  音楽Ⅲ
専	講師	中井 悠加 (32) ＜平成31年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 言葉研究(読み聞かせ実践) 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 言葉  初等国語科教育法(書写を含む) 国語(書写を含む) ※ 初等国語科授業研究
専	助教	牧瀬 翔麻 (27) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育制度論(小・幼)
兼任	教授	長島 玲子 (64) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) ＜平成30年10月＞
兼任	教授	石橋 照子 (59) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	高橋 恵美子 (56) ＜平成32年10月＞
兼任	教授	林 秀司 (54) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	岩田 英作 (54) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	若崎 淳子 (53) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	川中 淳子 (51) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	工藤 泰子 (46) ＜平成30年10月＞
兼任	准教授	増原 善之 (54) ＜平成32年4月＞
兼任	准教授	寺田 哲志 (56) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	塩谷 もも (44) ＜平成32年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山田 洋平 (35) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育心理学(小・幼) 教育相談の基礎と方法(小・幼) 生徒・進路指導の理論と方法(小) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所)
専	講師	前林 英貴 (46) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 子どもの保健ⅠA 子どもの保健ⅠB 子どもの保健Ⅱ 救命救急法・応急手当法 乳児保育 病弱児指導論 ※
専	講師	梶間 奈保 (34) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 表現Ⅲ ※  初等音楽科教育法 ※ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 保育内容 表現Ⅳ ※  音楽Ⅲ
専	講師	中井 悠加 (32) ＜平成31年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 言葉研究(読み聞かせ実践) 卒業研究基礎演習 卒業研究 保育内容 言葉  初等国語科教育法(書写を含む) ※ 国語(書写を含む) ※ 初等国語科授業研究
専	助教	牧瀬 翔麻 (27) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー 保育教育文献講読 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育制度論(小・幼)
兼任	准教授	井上 千晶 (40) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) ＜平成30年10月＞
兼任	准教授	大森 真澄 (56) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	高橋 恵美子 (56) ＜平成32年10月＞
兼任	教授	林 秀司 (54) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	岩田 英作 (54) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	松本 玄智江 (58) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	工藤 泰子 (46) ＜平成30年10月＞
兼任	准教授	増原 善之 (54) ＜平成32年4月＞
兼任	教授	藤原 真砂 (67) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	塩谷 もも (44) ＜平成32年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山田 洋平 (36) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 保育教育文献講読 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究  教育相談の基礎と方法(小・幼) 生徒・進路指導の理論と方法(小) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所)
専	講師	前林 英貴 (47) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 卒業研究基礎演習 卒業研究 <b>子どもの保健</b>  <b>子どもの健康と安全 ※</b> 救命救急法・応急手当法 ※ 乳児保育Ⅰ 病弱児指導論 ※
専	講師	梶間 奈保 (35) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習 卒業研究 <b>幼児と音楽表現Ⅰ</b> <b>保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ ※</b> 初等音楽科教育法 ※ 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 教職実践演習(小・幼) <b>幼児と音楽表現Ⅱ</b> <b>保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ ※</b> 音楽Ⅲ
専	講師	中井 悠加 (33) ＜平成31年4月＞
		スタートアップセミナー キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 言葉研究(読み聞かせ実践) 卒業研究基礎演習 卒業研究 <b>幼児と言葉</b> <b>保育内容・言葉の指導法</b> 初等国語科教育法(書写を含む) ※ 国語(書写を含む) ※ 初等国語科授業研究 <b>小学国語</b>
専	助教	牧瀬 翔麻 (28) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナー 保育教育文献講読 卒業研究基礎演習 卒業研究 教育制度論(小・幼)
兼任	教授	三瓶 まり (58) ＜平成31年4月＞
兼任	教授	安藤 彰朗 (62) ＜平成30年10月＞
兼任	准教授	岡安 誠子 (47) ＜平成31年4月＞
兼任	准教授	高橋 恵美子 (57) ＜平成32年10月＞
兼任	教授	林 秀司 (55) ＜平成30年4月＞
兼任	教授	岩田 英作 (55) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	細川 優 (62) ＜平成31年4月＞
兼任	教授	工藤 泰子 (47) ＜平成30年10月＞
兼任	准教授	増原 善之 (55) ＜平成32年4月＞
兼任	教授	藤原 真砂 (68) ＜平成30年4月＞
兼任	准教授	塩谷 もも (45) ＜平成32年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
兼任	准教授	石井 大輔 (38) <平成30年10月>
		市民社会と図書館 情報メディアの活用
兼任	講師	齋藤(杉下) 暁子 (42) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	講師	松尾 哲也 (41) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	木内 公一郎 (51) <平成32年4月>
		学校図書館論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成
兼任	講師	宮崎 英憲 (75) <平成31年10月>
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	多々納 道子 (69) <平成32年10月>
		初等家庭科教育法 家庭
兼任	講師	園山 土華 (71) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	長島 美保子 (66) <平成33年10月>
		子どもの食と栄養
兼任	講師	新倉 健 (67) <平成31年4月>
		音楽
兼任	講師	大塚 茂 (67) <平成31年4月>
		現代経済学
兼任	講師	崔 貞美 (61) <平成32年4月>
		基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	岡田 正樹 (65) <平成32年10月>
		初等音楽科教育法 ※
兼任	講師	倉田 隆 (66) <平成30年4月>
		哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (65) <平成31年4月>
		読書と豊かな人間性
兼任	講師	山尾 淳子 (64) <平成32年4月>
		保育内容 環境 ※ 保育相談支援
兼任	講師	石井 尚吾 (65) <平成31年10月>
		知的障害児の生理・病理 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※
兼任	講師	仲野 寛 (64) <平成31年4月>
		生涯学習概論
兼任	講師	小玉 容子 (65) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II 初等外国語教育法
兼任	講師	木村 吉彦 (63) <平成32年4月>
		初等生活科教育法
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) <平成30年4月>
		人間と自然
兼任	講師	有田 幸 (63) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	川上 洋子 (62) <平成31年10月>
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校)
兼任	講師	白川 浩 (61) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	白川 千春 (61) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	武田 信明 (59) <平成31年10月>
		文学
兼任	講師	石倉 優子 (57) <平成33年10月>
		家庭支援論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
兼任	准教授	石井 大輔 (38) <平成30年10月>
		市民社会と図書館 情報メディアの活用
兼任	教授	八田 典子 (59) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	久保田 典男 (45) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	木内 公一郎 (51) <平成32年4月>
		学校図書館論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成
兼任	講師	宮崎 英憲 (75) <平成31年10月>
		インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	多々納 道子 (69) <平成32年10月>
		初等家庭科教育法 家庭
兼任	講師	園山 土華 (71) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	長島 美保子 (66) <平成33年10月>
		子どもの食と栄養
兼任	講師	新倉 健 (67) <平成31年4月>
		音楽
兼任	講師	大塚 茂 (67) <平成31年4月>
		現代経済学
兼任	講師	崔 貞美 (61) <平成32年4月>
		基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	岡田 正樹 (65) <平成32年10月>
		初等音楽科教育法 ※
兼任	講師	倉田 隆 (66) <平成30年4月>
		哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (65) <平成31年4月>
		読書と豊かな人間性
兼任	講師	山尾 淳子 (64) <平成32年4月>
		保育内容 環境 ※ 保育相談支援
兼任	講師	石井 尚吾 (65) <平成31年10月>
		知的障害児の生理・病理 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※
兼任	講師	仲野 寛 (64) <平成31年4月>
		生涯学習概論
兼任	講師	小玉 容子 (65) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II 初等外国語教育法
兼任	講師	木村 吉彦 (63) <平成32年4月>
		初等生活科教育法
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) <平成30年4月>
		人間と自然
兼任	講師	有田 幸 (63) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	川上 洋子 (62) <平成31年10月>
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校)
兼任	講師	白川 浩 (61) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	白川 千春 (61) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	武田 信明 (59) <平成31年10月>
		文学
兼任	講師	石倉 優子 (57) <平成33年10月>
		家庭支援論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
兼任	准教授	石井 大輔 (39) <平成30年10月>
		市民社会と図書館 情報メディアの活用
兼任	准教授	松尾 哲也 (42) <平成31年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	久保田 典男 (46) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	木内 公一郎 (52) <平成32年4月>
		学校図書館論 学習指導と学校図書館 学校図書館メディアの構成
兼任	准教授	Lange Kriss (42) <令和2年4月>
		初等外国語(英語)教育法Ⅰ 初等外国語(英語)教育法Ⅱ
兼任	講師	宮崎 英憲 (75) <平成31年10月>
		特別支援教育とインクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	多々納 道子 (70) <平成32年10月>
		初等家庭科教育法 家庭
兼任	講師	園山 土華 (72) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	長島 美保子 (67) <平成33年10月>
		子どもの食と栄養
兼任	講師	新倉 健 (68) <平成31年4月>
		音楽
兼任	講師	大塚 茂 (68) <平成31年4月>
		現代経済学
兼任	講師	崔 貞美 (62) <平成32年4月>
		基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	岡田 正樹 (66) <平成32年10月>
		初等音楽科教育法 ※
兼任	講師	倉田 隆 (67) <平成30年4月>
		哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) <平成31年4月>
		読書と豊かな人間性
兼任	講師	山尾 淳子 (65) <平成32年4月>
		保育内容・環境の指導法 子育て支援
兼任	講師	石井 尚吾 (66) <平成31年10月>
		知的障害児の生理・病理 重複・LD・ADHD等の心理・生理・病理 ※
兼任	講師	仲野 寛 (65) <平成31年4月>
		生涯学習概論
兼任	講師	小玉 容子 (66) <平成30年4月>
		小学英語
兼任	講師	中井 誠一 (61) <平成31年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	竹中 裕貴 (37) <令和元年10月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	木村 吉彦 (64) <平成32年4月>
		初等生活科教育法
兼任	講師	鹿野 一厚 (65) <平成30年4月>
		人間と自然
兼任	講師	有田 幸 (64) <平成30年4月>
		表現とコミュニケーション
兼任	講師	川上 洋子 (63) <平成31年10月>
		キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅱ(小学校)指導 教育実習Ⅱ(小学校)
兼任	講師	白川 浩 (62) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	白川 千春 (62) <平成30年4月>
		音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ)
兼任	講師	武田 信明 (60) <平成31年10月>
		文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 啓子 (60) <平成30年10月> キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所)
兼任	講師	梶谷 朱美 (57) <平成32年4月> 初等体育科教育法 初等体育科授業研究
兼任	講師	武田 千代美 (57) <平成32年10月> 音楽療法論
兼任	講師	瀬島 斉 (58) <平成31年4月> 病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	飯塚 由美 (58) <平成30年4月> 心理学 情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ
兼任	講師	秦 昌子 (57) <平成31年10月> 保育内容 表現Ⅲ ※
兼任	講師	加藤 寿朗 (56) <平成32年10月> 初等社会科教育法 社会
兼任	講師	渡辺 一弘 (56) <平成30年4月> 教職論(小・幼) ※ 最新教育課題 ※
兼任	講師	小籠 洋 (55) <平成31年10月> インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	一盛 真 (54) <平成32年4月> 特別活動の指導法(小)【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (53) <平成32年4月> 健康スポーツⅢ
兼任	講師	妻藤 純子 (53) <平成32年10月> 初等図画工作科教育法 ※
兼任	講師	宮下 裕一 (55) <平成30年4月> 児童家庭福祉 ※ 社会福祉概論 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
兼任	講師	岡本 千佳子 (54) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	平岩 里佳 (51) <平成31年4月> 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) <平成32年4月> 基礎中国語 中国語
兼任	講師	代(加藤)香織 (49) <平成30年4月> 音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ) 音楽Ⅲ
兼任	講師	小倉 佳代子 (44) <平成32年4月> 情報機器の操作Ⅲ
兼任	講師	渡邊 寛智 (44) <平成32年4月> 保育内容 表現Ⅳ ※ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ
兼任	講師	尾崎 智子 (42) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) <平成30年4月> アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	Lamichhane Kamal (35) <平成31年10月> インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	黒澤 修一郎 (34) <平成31年10月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 啓子 (60) <平成30年10月> キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所)
兼任	講師	梶谷 朱美 (57) <平成32年4月> 初等体育科教育法 初等体育科授業研究
兼任	講師	武田 千代美 (57) <平成32年10月> 音楽療法論
兼任	講師	瀬島 斉 (58) <平成31年4月> 病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	飯塚 由美 (58) <平成30年4月> 心理学 情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ
兼任	講師	秦 昌子 (57) <平成31年10月> 保育内容 表現Ⅲ ※
兼任	講師	加藤 寿朗 (56) <平成32年10月> 初等社会科教育法 社会
兼任	講師	渡辺 一弘 (56) <平成30年4月> 教職論(小・幼) ※ 最新教育課題 ※
兼任	講師	小籠 洋 (55) <平成31年10月> インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	一盛 真 (54) <平成32年4月> 特別活動の指導法(小)【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (53) <平成32年4月> 健康スポーツⅢ
兼任	講師	妻藤 純子 (53) <平成32年10月> 初等図画工作科教育法 ※
兼任	講師	宮下 裕一 (55) <平成30年4月> 児童家庭福祉 ※ 社会福祉概論 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
兼任	講師	岩田 裕子 (45) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	平岩 里佳 (51) <平成31年4月> 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) <平成32年4月> 基礎中国語 中国語
兼任	講師	代(加藤)香織 (49) <平成30年4月> 音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ) 音楽Ⅲ
兼任	講師	小倉 佳代子 (44) <平成32年4月> 情報機器の操作Ⅲ
兼任	講師	渡邊 寛智 (44) <平成32年4月> 保育内容 表現Ⅳ ※ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ
兼任	講師	尾崎 智子 (42) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) <平成30年4月> アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	Lamichhane Kamal (35) <平成31年10月> インクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	黒澤 修一郎 (34) <平成31年10月> 日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 啓子 (61) <平成30年10月> キャリア・プランニング 保育教育職インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼稚園)指導 教育実習Ⅰ(幼稚園) 保育実習Ⅰ(保育所)指導 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ(保育所)指導 保育実習Ⅱ(保育所)
兼任	講師	梶谷 朱美 (58) <平成32年4月> 初等体育科教育法 初等体育科授業研究
兼任	講師	武田 千代美 (58) <平成32年10月> 音楽療法論
兼任	講師	瀬島 斉 (59) <平成31年4月> 病弱児の心理・生理・病理
兼任	講師	飯塚 由美 (59) <平成30年4月> 心理学 情報機器の操作Ⅰ 情報機器の操作Ⅱ
兼任	講師	秦 昌子 (58) <平成31年10月> 保育内容 表現Ⅲ ※ 幼児と音楽表現Ⅰ ※ 保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ ※
兼任	講師	加藤 寿朗 (57) <平成32年10月> 初等社会科教育法 社会
兼任	講師	渡辺 一弘 (57) <平成30年4月> 教職論(小・幼) ※ 最新教育課題 ※
兼任	講師	小籠 洋 (56) <平成31年10月> 特別支援教育とインクルーシブ教育論 ※
兼任	講師	一盛 真 (55) <平成32年4月> 特別活動の指導法(小)【隔年】
兼任	講師	山本 ユミ (54) <平成32年4月> 健康スポーツⅢ
兼任	講師	妻藤 純子 (54) <平成32年10月> 初等図画工作科教育法 ※
兼任	講師	宮下 裕一 (56) <平成30年4月> 子ども家庭福祉 ※ 社会福祉概論 保育実習Ⅰ(施設)指導 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ(施設)指導 保育実習Ⅲ(施設)
兼任	講師	岩田 裕子 (46) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	平岩 里佳 (52) <平成31年4月> 肢体不自由児の心理・生理・病理
兼任	講師	鳥谷 聡子 (48) <平成32年4月> 基礎中国語 中国語
兼任	講師	代(加藤)香織 (50) <平成30年4月> 音楽基礎Ⅰ(ピアノ) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ) 音楽Ⅲ
兼任	講師	小倉 佳代子 (45) <平成32年4月> 情報機器の操作Ⅲ
兼任	講師	渡邊 寛智 (45) <平成32年4月> 幼児と音楽表現Ⅱ ※ 保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ ※ 音楽Ⅲ 音楽Ⅳ
兼任	講師	尾崎 智子 (43) <平成30年10月> 言葉研究(読み聞かせ実践)
兼任	講師	Dustin John Kidd (41) <平成30年4月> アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	Lamichhane Kamal (36) <平成31年10月> 特別支援教育とインクルーシブ教育論 ※
兼任	准教授	谷口 智紀 (36) <平成31年4月> 日本国憲法



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>・ 廣瀬隆司教授の就任辞退。後任を平成30年10月採用予定（平成30年度第1回AC教員教員審査にて審査中。教職課程に関する科目は、平成30年4月2日付で判定・可）</p> <p>・ 「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。 ※兼任教授・長島玲子→兼任准教授・井上千晶 ※兼任教授・石橋照子→兼任准教授・大森真澄 ※兼任教授・若崎淳子→兼任准教授・松本玄智江 ※兼任講師・齋藤(杉下)暁子→兼任教授・八田典子 ※兼任准教授・寺田哲志、兼任教授・川中淳子→兼任教授・藤原真砂 ※兼任講師・松尾哲也→兼任准教授・久保田典男</p> <p>・ 兼任講師の就任辞退に伴う変更。 ※「しまねボランティア研修」……兼任講師・加藤泰寛→兼任講師・目次和恵 ※「言葉研究(読み聞かせ実践)」……兼任講師・岡本千佳子→兼任講師・岩田裕子</p> <p>・ 教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり変更 ※「障害児発達教育論」……教授・園山繁樹→教授・山下由紀恵。教授・山下由紀恵は平成29年12月AC教員審査済み(判定・可) ※「知的障害児教育特論」……科目名称を「知的障害児教育演習」に変更。准教授・西村健一は平成29年12月AC教員審査済み(判定・可) ※「発達障害児教育特論」……科目名称を「発達障害児教育演習」に変更。准教授・内山仁志は平成29年12月AC教員審査済み(判定・可)</p> <p>・ 教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更。なお、以下の対応については平成29年12月AC教員審査において「教員資格審査結果への対応を記載した書類」を提出している。 ※「初等国語科教育法(書写を含む)」……オムニバス科目に変更(担当教員…講師・中井悠加、兼任講師・福田哲之)。講師・中井悠加は平成29年12月AC教員審査済み(判定・可) ※「国語(書写を含む)」……オムニバス科目に変更(担当教員…講師・中井悠加、兼任講師・福田哲之)。講師・中井悠加は平成29年12月AC教員審査済み(判定・可) ※「キャリアプランニング」……助教・牧瀬翔麻を科目担当者から除外 ※「保育教育職インターンシップ」……助教・牧瀬翔麻を科目担当者から除外</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【令和元年度】

<p>・ 廣瀬隆司教授の就任辞退に伴い、齊藤一弥教授を平成30年10月採用(平成30年度第1回AC教員教員審査で判定・可) ※担当科目…「スタートアップセミナー」「キャリア・プランニング」「保育教育職インターンシップ」「卒業研究基礎演習」「卒業研究」「初等算数科教育法」「算数」「教職実践演習(小・幼)」「教育実習Ⅱ(小学校)指導」「教育実習Ⅱ(小学校)」「初等算数科授業研究」「小学算数」</p> <p>・ 廣田佳彦教授の退職に伴い、時津啓教授を平成31年4月採用(平成30年度第3回AC教員教員審査を受審。業績不足により「不可」と判定された1科目(保育教育職インターンシップ)については、令和元年度AC教員審査を受審予定) ※担当科目…「スタートアップセミナー」「キャリア・プランニング」「卒業研究基礎演習」「卒業研究」「教職論(小・幼)」「教育原理(小・幼)」「教育方法論(小・幼)」「道徳の理論と指導法(小)」「教育史」「最新教育課題」 ※「教育方法論(小・幼)」については、科目内容を変更し、兼任教員1名(深見俊崇)を追加。</p> <p>・ 「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。 ※兼任准教授・井上千晶→兼任教授・三瓶まり ※兼任准教授・大森真澄→兼任准教授・岡安誠子 ※兼任准教授・松本玄智江→兼任准教授・細川優 ※兼任教授・八田典子→兼任准教授・松尾哲也</p> <p>・ 兼任講師の就任辞退に伴う変更。 ※「しまねボランティア研修」……兼任講師・目次和恵→兼任講師・高橋伊尚 ※「日本国憲法」……兼任講師・黒澤修一郎→兼任准教授・谷口智紀</p> <p>・ 教職課程再課程認定及び保育士養成施設カリキュラム変更に伴い以下のとおり担当科目を変更(平成30年度第4回AC教員審査を受審。業績不足により「不可」とされた1科目(教育心理学(小・幼))については、令和元年度第1回AC教員審査を受審予定) ※教授・岸本 強→「幼児と健康」(新設)、「保育内容・健康の指導法」「体育」(科目内容・科目名称の変更)。 ※教授・園山繁樹→「障害児保育」(科目内容の変更)、「特別支援教育とインクルーシブ教育論」(科目名称の変更)。 ※教授・齊藤一弥→「初等算数科教育法」(科目内容の変更)。 ※教授・高橋泰道→「幼児と環境」「総合的な学習の時間の指導法」(新設)。 ※教授・時津 啓→「教育原理(小・幼)」「教育史」「教育方法論(小・幼)」(科目内容の変更)、「道徳の理論と指導法(小)」(科目名称・内容の変更)。 ※准教授・藤原映久→「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」「社会的養護Ⅱ」「子ども家庭支援論」(科目名称の変更)、「子ども家庭支援の心理学」(科目内容・科目名称の変更)。 ※准教授・小山優子→「保育の計画と評価」(新設)、「教育課程論(小・幼)」「保育内容総論Ⅰ」「保育内容総論Ⅱ」(科目内容の変更)。 ※准教授・福井一尊→「幼児と造形表現Ⅰ」「幼児と造形表現Ⅱ」(新設)、「保育内容・造形表現の指導法Ⅰ」「保育内容・造形表現の指導法Ⅱ」「図画工作」(科目内容・科目名称の変更)。 ※准教授・矢島毅昌→「幼児と人間関係」(新設)、「保育内容・人間関係の指導法」(科目内容・科目名称の変更)。 ※准教授・西村健一→「障害児保育」(科目内容の変更)。 ※准教授・山田洋平→「教育心理学(小・幼)」(科目内容の変更)。判定・不可のため、令和元年度第1回AC教員審査を受審予定。 ※講師・前林英貴→「子どもの保健」「子どもの健康と安全」「乳児保育Ⅰ」(科目内容・科目名称の変更)、「救命救急法・応急手当法」(科目内容の変更)。「子どもの健康と安全」の科目内容を変更し、兼任教員1名(竹原康江)を追加。 ※講師・梶間奈保→「幼児と音楽表現Ⅰ」「幼児と音楽表現Ⅱ」(新設)、「保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ」「保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ」(科目内容・科目名称の変更)。「初等音楽科教育法」(科目内容の変更)。 ※講師・中井悠加→「幼児と言葉」「小学国語」(新設)、「保育内容・言葉の指導法」(科目内容・科目名称の変更)、「初等国語科教育法(書写を含む)」(初等国語科授業研究) (科目内容の変更)。 ※兼任准教授・高橋恵美子→「幼児と健康」(新設)、「保育内容・健康の指導法」(科目内容・科目名称の変更)。 ※兼任准教授・Lange Kriss→「初等外国語(英語)教育法Ⅱ」(新設)、「初等外国語(英語)教育法Ⅰ」(科目名称の変更)。 ※兼任講師・宮崎英憲→「特別支援教育とインクルーシブ教育論」(科目名称の変更)。 ※兼任講師・山尾淳子→「保育内容・環境の指導法」(科目内容・科目名称の変更)、「子育て支援」(科目名称の変更)。 ※兼任講師・小玉容子→「小学英语」(新設)。 ※兼任講師・秦 昌子→「幼児と音楽表現Ⅰ」(新設)、「保育内容・音楽表現の指導法Ⅰ」(科目内容・科目名称の変更)。 ※兼任講師・小脇 洋→「特別支援教育とインクルーシブ教育論」(科目名称の変更)。 ※兼任講師・宮下裕一→「子ども家庭福祉」(科目名称の変更)。 ※兼任講師・渡邊寛智→「幼児と音楽表現Ⅱ」(新設)、「保育内容・音楽表現の指導法Ⅱ」(科目内容・科目名称の変更)。 ※兼任講師・Lamichhane Kamal→「特別支援教育とインクルーシブ教育論」(科目内容・科目名称の変更)。</p> <p>・ 兼任講師・小玉容子の科目担当辞退(「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」)に伴う後任(兼任教員)の採用。 ※「英語Ⅰ」→兼任講師・中井誠一を採用。 ※「英語Ⅱ」→兼任講師・竹中裕貴を採用。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	7	3	1	16	5	7	3	1	16
(5)	(7)	(2)	(1)	(15)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
5	7	3	1	16	5	7	3	1	16
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	廣瀬 隆司	H30.2	必修	スタートアップセミナー	①	一身上の都合により当該教員より平成29年11月14日付けで就任辞退届が提出され、平成30年2月5日開催の理事会において審議・承認した。(30)			
				必修	卒業研究基礎演習	①				
				必修	卒業研究	①				
				必修	教職実践演習（小・幼）	①				
				選択	キャリア・プランニング	①				
				選択	保育教育職インターンシップ	①				
				選択	初等算数科教育法	①				
				選択	算数	①				
				選択	教育実習Ⅱ（小学校）指導	①				
				選択	教育実習Ⅱ（小学校）	①				
				選択	初等算数科授業研究	①				
				選択	小学算数	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	廣田 佳彦	H31.3	必修	スタートアップセミナー	①	当該教員より平成30年5月21日付けで自己都合による退職届が提出され、学内及び理事会で協議の上、平成30年5月29日付けで退職承認の通知（平成31年3月31日付けでの退職を承認）が行われた。(元)			
				選択	キャリア・プランニング	①				
				必修	卒業研究基礎演習	①				
				必修	卒業研究	①				
				必修	教職論（小・幼）	①				
				必修	教育原理（小・幼）	①				
				必修	教育方法論（小・幼）	①				
				選択	道徳の指導法（小）	①				
				選択	教育史	①				
				選択	最新教育課題	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	22 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{16} = \boxed{12.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし	必修						
			選択						
			必修						
			自由						
			必修						
			必修						
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廣瀬隆司氏が担当することになっていた各科目については、平成30年度第1回教員審査の判定が「可」となっている齊藤一弥氏を後任の専任教員として補充し、廣田佳彦氏が担当することになっていた各科目については、平成30年度第3回教員審査の判定が「可」となっている時津啓氏を後任の専任教員として補充しており、認可時の計画どおり全科目を開講していることから支障はない。学生に対しては年度当初に配付する「学生便覧」に担当教員を記載して周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時</p> <p>(平成29年)</p>	<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p>教員の補充を指摘された各科目の対応状況をそれぞれ以下に記載する。</p> <p>なお、添付資料として、③④の「シラバス(別紙)」と、①～④の対応について平成29年12月AC教員審査の際に提出した「教員資格審査結果への対応を記載した書類(別紙)」を提出する(30)。</p> <p>【①初等国語科教育法(書写を含む)】 授業計画を見直し、書写指導に関する内容を拡充(1回→2回)した。また、当該事項を担当する兼任教員として教育研究業績の豊富な島根大学教授・福田哲之氏を兼任教員として追加し、中井悠加講師とオムニバス科目とした(中井講師については、変更後の内容で、平成29年12月AC教員審査にて可の判定を受けている)(30)。</p> <p>【②国語(書写を含む)】 授業計画を見直し、書くことに関する内容6回のうち、3回を書写に関する内容とした。また、上記①と同様に兼任教員として福田哲之氏を追加し、中井悠加講師とオムニバス科目とした(中井講師については、変更後の内容で、平成29年12月AC教員審査にて可の判定を受けている)(30)。</p>	<p>履行済</p> <p>履行済</p>

	<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>【③キャリアプランニング】      当該科目の専任教員として「可」の判定を受けた教員は、「不可」となった牧瀬助教を除く保育教育学科専任教員15名と、兼任教員2名(教職センター所属)である。不可となった1名については引き続き当該分野の業績を積み、科目を担当者として可となるよう指導を行っている。      なお、参考資料として本科目のシラバスを添付し、授業実施上の教員体制を補足説明する。      この授業では、第1回から第5回までを学科のシラバスに示した専任教員と兼任教員、卒業生(ゲストスピーカー)により指導を進める。      第6回から第10回までは本学のキャリアセンターの指導と連携しつつ、兼任教員が中心となって指導を行う(科目責任者として専任教員(学科長)がコーディネートを行う)。      第11回から第15回までの就職試験対策の模擬面接・集団討論等の体験指導については、学生を希望職種グループ別に分けて専任教員に割り振り、就職試験対策の希望職種別支援指導を行う。この授業は選択科目であるが、仮に入学定員40名の学生を均等に教員に割り振っても1名当たりが受け持つ学生は2~3名である。      以上のような教員体制での授業運営を行っていく。不可となった教員1名は教職センターの兼任教員としても配置しており、授業外で学生の履修指導等を経験させている。当該分野の教育研究業績が積み増せた段階でAC教員審査を受審予定であるが、仮に科目開講時に間に合わない場合であっても、授業運営に重大な支障が出る恐れは低いと考えている(30)。       不可となった1名について、引き続き当該分野の業績を積み、科目担当者として可となるよう指導を行った(元)。</p>	<p>履行中</p>	<p>審査で不可となった教員1名(牧瀬助教)については、教職センターの兼任教員として配置し、教職センター配属の兼任教員2名と専任教員による教職課程運営の補助業務(学生の履修指導等)を担当させている。AC期間中に教育研究業績を積み増し、教員審査受審の上、当該科目の指導体制に参加できるように計画している(30)。       教育研究業績を積み増し、令和元年度第1回AC教員審査を受ける予定である(元)。</p>
--	---------------------------------------------------------------------	-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>教員の補充を必要とされた4授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(保育教育学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>【④保育教育職インターンシップ】 「キャリアプランニング」と同様、当該科目の専任教員として「可」の判定を受けた教員は、「不可」となった牧瀬助教を除く保育教育学科専任教員15名と、名簿の兼任教員2名(教職センター所属)である。不可となった1名については引き続き当該分野の業績を積み、科目を担当者として可となるよう指導を行っている。 なお、参考資料として本科目のシラバスを添付し、授業実施上の教員体制を補足説明する。 この授業では、インターンシップの前のガイダンスと、事前指導及び事後指導については、シラバスに示した専任教員と兼任教員により指導を進める。インターンシップ実習中は学生を個別に支援する体制として、インターンシップ履修学生の人数に応じて、専任教員に学生を個別に割り振り、実習中の個別の相談支援を行う。必要に応じて学科全体で責任をもって対応にあたる。「キャリアプランニング」と同様、当該科目は選択科目であり、仮に入学定員40名の全てが受講したとしても十分な教員を配置している。 不可となった教員1名は教職センターの兼任教員としても配置しており、授業外で学生の履修指導等を経験させている。当該分野の教育研究業績が積み増せた段階でAC教員審査を受審予定であるが、仮に科目開講時に間に合わない場合であっても、授業運営に重大な支障が出る恐れは低いと考えている(30)。  不可となった1名について、引き続き当該分野の業績を積み、科目担当者として可となるよう指導を行った(元)。</p>	<p>審査で不可となった教員1名(牧瀬助教)については、教職センターの兼任教員として配置し、教職センター配属の兼任教員2名と専任教員による教職課程運営の補助業務(学生の履修指導等)を担当させている。AC期間中に教育研究業績を積み増し、教員審査受審の上、当該科目の指導体制に参加できるように計画している。(30)  教育研究業績を積み増し、令和元年度第1回AC教員審査を受ける予定である(元)。</p> <p>履行中</p>
--	---------------------------------------------------------------------	-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

認可時 (平成29年8月)	「初等国語科教育法(書写を含む)」のシラバスについて、書写指導に関する内容が15回の授業計画のうち、1回の中で文字指導とあわせて行うと記載されている。学習指導要領の内容や、小学校の書写の授業回数から考えて少なすぎるため、書写指導に関する内容を充実することが望ましい。(保育教育学科)	改善意見	当該科目については、授業計画を見直し、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の3回のうち2回を書写指導とし、内容を充実させた。また、当該分野の教育研究業績豊富な兼任教員(1名)を追加し、書写指導部分を担当いただくこととしている。これにより本件については履行済みと判断した(30)。	履行済	
AC教員審査時 (平成30年)	「保育教育職インターンシップ」について、関連する業績不足のため、科目不適合。	留意事項	不可となった1名については、教職センター兼任教員として当該分野の業績を積み、科目担当者として可となるよう指導を行っている。開設時からの当該科目兼任教員2名も、教職センター特任教員として指導に当たる体制を組んでいる。(元)。	履行中	左記の対応を実施し、令和元年度中にAC教員審査を受ける予定である(元)。
AC教員審査時 (平成30年)	平成31年入学者向け「教育心理学(小・幼)」について、「学習」に関連する業績不足のため、科目不適合。	留意事項	業績が不足している部分については、兼任教員とのオムニバス形式をとることで対応する予定である(元)。	履行中	左記の対応を実施し、令和元年度第1回AC教員審査を受ける予定である(元)。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<人間文化学部 保育教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 前身である島根県立大学短期大学部から引き続き、FD委員会を設置している。委員会は人間文化学部と併設する短期大学部の教員を委員に含め、全6名で構成している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は毎月1回（毎月第3水曜日）開催する。平成30年度の開催状況は次のとおり。</p> <p>【平成30年度FD委員会】</p> <p>平成30年4月18日：第1回委員会 開催 全委員出席 議題：①平成29年度計画の実績報告、平成30年度計画について ②平成30年度業務分担について ③平成30年度学内外研修について ④授業評価アンケートについて ⑤その他：SD活動について</p> <p>平成30年5月16日：第2回委員会 開催 全委員出席 議題：①第1回FDセンター全学運営会議について ②平成30年度授業評価アンケートについて ③FD研修の認定について ④その他：SD研修について</p> <p>平成30年7月18日：第3回委員会 開催 全委員出席 議題：①学内研修について ②平成30年度授業評価アンケートについて ③授業見学について ④その他：出雲キャンパスFD研修会、京都光華女子大学学生FDサミットについて</p> <p>平成30年9月3日：第4回委員会 開催 委員6名中5名出席 議題：①学内研修について ②平成30年度授業評価アンケートについて ③授業見学について ④その他：学生FDサミット2018の報告</p> <p>平成30年9月19日：第5回委員会 開催 委員6名中5名出席</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

議題：①平成30年度授業評価アンケートについて

②その他：学内研修会のポスター説明

平成30年11月21日：第6回委員会 開催 全委員出席

議題：①平成30年度第1回・第2回学内研修会の振り返りについて

②平成30年度秋学期授業評価アンケートの内容・方法について

③平成31年度当初予算（FD関連）の要求について

④島根県立松江東高等学校の授業公開について

平成30年12月19日：第7回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケートの設問について

②平成31年度当初予算（FD関連）の要求について

③平成30年度計画実績報告について

④その他：授業評価アンケートのスケジュール確認

平成31年2月20日：第8回委員会 開催 全委員出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケートについて

②授業評価アンケート実施規程（案）について

③平成30年度FDセンター年報作成について

④平成30年度予算執行状況について

⑤平成31年度以降の学内体制について

平成31年3月14日：第9回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケート結果について

②平成30年度FDセンター年報作成について

③平成30年度FDセンター年報作成について

④平成30年度予算執行状況について

⑤平成31年度以降の学内体制について

c 委員会の審議事項等

所掌事項：①FD研修会実施に関すること

②授業評価アンケート実施に関すること

③教員相互の授業見学実施に関すること

④FD連絡会（③実施後開催する教員同士のディスカッション）に関すること

② 実施状況

a 実施内容

①FD研修会

②授業評価アンケート

③教員相互の授業見学

④FD連絡会

b 実施方法

①FD研修会

FD委員会で企画し、学内教員を対象に実施する

②授業評価アンケート

春学期・秋学期に開講するすべての授業科目を対象に、原則として授業最終日に授業評価アンケートを実施する。アンケート結果は全体と授業別に集計の上、各教員に配付する。教員は後日フィードバックレポートを作成し、学生に公表する。

③教員相互の授業見学

春学期又は秋学期に一定の期間を定め、専任教員が他の専任教員の授業を見学する。見学者は見学後に所定の様式に「良かった点」「自分の授業に取り入れたい点」「工夫すればよくなると考える点」等を記入し、見学した授業担当の専任教員に提出する。

④FD連絡会

③実施後、全専任教員を対象として授業見学を通じての振り返りと、ワークショップを実施し、授業見学から得たことの共有や、授業改善等に関する意見交換を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①FD研修会

第1回 日時：平成30年10月31日

テーマ：教職支援の視点を生かした地方創生支援のあり方

形式：学外講師による講演、ワークショップ

参加者：学内教職員43名

第2回 日時：平成30年11月14日

テーマ：授業見学を通しての振り返りについて

形式：テーマに関するワークショップ

参加者：学内教職員40名

②授業評価アンケート

春学期・秋学期ともに全科目を対象として、最終講義時に実施した。平成30年度の実施率は100%。

③教員相互の授業見学

平成30年10月15日～11月2日の間、各教員が希望する講義について、対象となる教員に事前連絡の上、授業見学を実施した。

④FD連絡会

平成30年11月14日、教員相互で授業見学を通じての振り返りと、ワークショップを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①FD研修会・FD連絡会

第1回研修会においては、学外講師を招いて、教職支援の視点を生かした地方創生支援のあり方に関する講演会を開催し、続けて、当講演内容を踏まえたワークショップを行った。地方創生推進にあたっての大学の役割と課題について議論するなかで、本学教職センターと教職センターを運営していく上での授業のあり方についての方向性を見出す機会となった。

第2回研修会においては、教員相互で実施した授業見学の振り返りについて、ワークショップを行った。他分野の授業の方法を自己の授業に取り入れることは有益ではないかという意見があるなど、分野の異なる教員間で授業見学を実施することは、教員間の相互理解や、より高い質の授業にしていこうとする意識醸成を高めていくことがわかり、授業改善に繋がっていった。

②教員相互の授業見学

授業担当者及び見学者が相互に授業評価を行い、良かった点や自己の授業に取り入れたいこと、提案などについて記載した見学記録を授業担当者へ報告することにより、授業改善に生かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期・秋学期ともに全科目を対象として、最終講義時に実施。平成30年度の実施率は100%。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果の集計・分析を行い、フィードバックレポートを作成し、教職員で共有した。

また、学生に対しては、学生情報システムによってフィードバックレポートを公開した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 1. 人間文化学部の設置の趣旨・目的

##### ■人間文化学部の教育研究上の理念

人間文化学部は、人間形成及び人間によって歴史的に創出・形成されてきた文化について探究し、地域社会と連携した実践的で学術的な教育研究を推進する。地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材を育成することを通して、関連する学術分野の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

##### 【保育教育学科】

保育教育学科では、人間形成（特に乳幼時期・児童期）の在り方を中心とした教育研究を推進し、地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性を備えた保育者・教育者を育成する。乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障害のある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材を育成する。

##### ■人間文化学部の育成する人材像

人間文化学部は、教育研究上の目的に掲げる「地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材」を育成する。

##### 【保育教育学科】

保育教育学科は、「地域文化や児童文化を次世代に向けて継承し得る豊かな人間性をもった保育者・教育者」及び「乳幼児期から児童期までの子どもの成長・発達を見通して考えることのできる広い視野と高度な専門性を持ち、地域の様々な環境に置かれた子どもや障害のある子どもに対応し得る高い実践力を備えた人材」を育成する。

#### 2. 達成状況に関する総括評価・所見

第2期生となる平成31年度入学者選抜試験において、保育教育学科では以下のアドミッションポリシーを掲げて入学者選抜を実施した。

##### [知識・技能]

保育者・教育者としての専門的知識や技能を身に付けていくために必要な基礎的な学力を有している人

##### [思考力・判断力・表現力]

多様な角度から課題を捉え、自分の視点で考察した上で、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

##### [関心・意欲・態度]

保育者・教育者として、大学で学んだ専門的知識や技能を地域に還元し、他者と協調しながら社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

平成31年度入試では、定員40名に対して132名(昨年度130名)の出願(出願倍率3.3倍)があり44名が入学した。志願者の出身は13府県(昨年度11府県)におよび、広い範囲から志願者を獲得することができた。大学間競争が激しくなる中で、昨年度に引き続き、全国から多数の出願者・受験者があったことは、本学の教育研究理念や育成する人材像が社会的に高い関心をもたれている証であると考えられる。

上記人材を育成するため、カリキュラムポリシーに基づき編成した教育課程において、令和元年度に開講すべき科目は全て計画通り開講している。

地域社会に貢献できる保育・教育職を目指す教育課程において、学生が自らに適した履修モデルを選択し、履修計画を着実に実行に移していくことができるよう、全学「教職センター」を松江キャンパスに開設して、学科専任教員のみならず、「教職センター」運営会議教員並びに保育教育職経験者専門スタッフのサポートにより、きめ細かな学習支援体制を整えている。

専任教員については、平成30年4月1日着任の専任教授廣田佳彦氏より、退職届の提出があり、学内及び理事会での審議・承認を経て、平成30年5月29日付けで平成31年3月31日付けでの退職承認の通知が行われた。後任教員の選考を行い、同分野の教授候補者を選考し、平成30年10月10日付公法島第3047号で専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)を提出した。平成30年12月、教員審査の結果、10科目中9科目が「可」と判定され、平成31年4月に教授として採用し、着任した。「不可」と判定された1科目(保育教育職インターンシップ)については、教職センター兼任教員として当該分野の業績を積み、科目担当者として可となるよう指導を行って

いる。開設時からの当該科目兼任教員2名も、教職センター特任教員として指導に当たる体制を組み、令和元年度中にAC教員審査を受ける予定である。

また、設置認可申請における教員審査にて教員追加の判定を受けた4科目のうち、履行中となっている2科目（「キャリアプランニング」「保育教育職インターンシップ」）の審査で「不可」と判定された1名について、AC期間中に教育研究業績を積み増し、令和元年度第1回AC教員審査を受ける予定であり、当該科目の指導体制に参加できるように計画・実践している。

平成30年度には、教職課程再課程認定及び保育士養成課程変更に伴いカリキュラム改正があり、専任教員の担当科目に変更が生じたため、AC教員審査を受けた結果、1科目（教育心理学（小・幼））で「不可」と判定されたが、科目の開設に間に合うよう令和元年度第1回AC教員審査を受ける予定である。

校舎については、1号館・2号館については平成29年度中にバリアフリー化、設備更新、用途変更等の工事を計画通り実施した。3号館については平成30年度中にバリアフリー化、設備更新等の工事を実施した。図書館棟についても、計画通り平成30年度中の竣工を完了した。

以上のとおり、専任教員配置計画において計画を変更した部分があるが、本学部・学科の設置計画の達成状況は概ね計画通りであると考えている。

## ② 自己点検・評価報告書

### a 公表（予定）時期

毎年度、中期計画及び年度計画に対する自己点検評価を行い、業務実績報告書を作成している。

前身となる島根県立大学短期大学部は、平成23年度に自己点検・評価報告書を作成し、財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、適合の判定を受けている。適合期間の満了を迎えるため、平成30年度に同協会による認証評価を受審し、適合と認定された。

島根県立大学は、短期大学部同様に財団法人大学基準協会から認証評価の適合判定を受けている。今後、令和2年3月末をもって適合期間が満了するため、現在、同協会による認証評価を受審申請中である。

### b 公表方法

自己点検・評価の内容は大学ホームページ上で公開する。

## ③ 認証評価を受ける計画

令和元年度に財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、学内で準備を進め、現在、同協会による認証評価を受審申請中である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （5）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年12月末日までの公表を予定 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人島根県立大学

## (2) 大学名

島根県立大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒690-0044

島根県松江市浜乃木7-24-2

(〒697-0016)

(島根県浜田市野原町2433-2)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成29年4月1日)		
学部長	(イワタ エイサク) 岩田 英作 (平成30年4月1日)		
学科長等	(マツウラ ユウジ) 松浦 雄二 (平成30年4月1日)	(マユー アキ) マユー あき (平成31年4月1日)	任期満了のため交代 平成31年4月1日 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間文化学部 保育教育学科 学士(保育教育学)	教育学・保育学関係	4年	70人	3年次人	286人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70 ( - ) [ - ]	-	70 ( - ) [ - ]	-	- ( - ) [ - ]	-	- ( - ) [ - ]	-	1.06倍	-	
志願者数	215 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	322 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	156 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	216 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	75 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	82 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	74 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	76 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.08		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	74 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	74 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	
2年次	/		76 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	
3年次			/		/		- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]
4年次	/						/		- ( - ) [ - ]
計			74 [ - ] ( - )		120 [ - ] ( - )				- [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	74 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	120 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{120} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化学部 地域文化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	小計 (5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2			1					兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	1前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	小計 (5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	0	兼4
人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1	
	脳科学と心	1後	2								兼1	
	生物と栄養	1後	2								兼1	
	環境の科学	2後	2								兼1	
小計 (4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1					兼11	
	しまね文化論	1後	2			1					兼1	
	しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1	
	小計 (3科目)	-	4	1	0	2	0	0	0	0	0	兼12
体育	健康スポーツ概論	1後	1								兼1	
	健康スポーツ I	1前	1								兼1	
	健康スポーツ II	1後	1								兼1	
	健康スポーツ III	2前	1								兼1	
	小計 (4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼4
外国語	基礎中国語	1前	1								兼1	
	中国語	1後	1								兼1	
	基礎韓国語	1前	1								兼1	
	韓国語	1後	1								兼1	
	基礎タイ語	1前	1			1					兼1	
	タイ語	1後	1			1					兼1	
	基礎インドネシア語	1前	1			1					兼1	
	インドネシア語	1後	1			1					兼1	
小計 (8科目)	-	0	8	0	0	2	0	0	0	0	兼4	
小計 (29科目)	-	4	41	0	2	3	0	0	0	0	兼27	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナー I	1前	1		7	6	5				
		スタートアップセミナー II	1後	1		7	6	5				
		キャリアデザイン I	1後	1		1						
		キャリアデザイン II	2前	1		1						
		キャリアデザイン III	3前	1		1						
		インターンシップ	2通	1		1						
	小計 (6科目)	-	4	2	0	7	6	5	0	0	0	
	リテラシー	総合英語 I (多読)	1前	1			1					兼1
総合英語 II (リスニング)		1前	1		1						兼1	
総合英語 III (リーディング)		1後	1		1						兼1	
総合英語 IV (英会話)		1後	1			1					兼1	
実践英語 I (TOEIC対策)		1前	1								兼1	
実践英語 II (TOEIC対策)		1後	1								兼1	
実践英語 III (観光英検英語)		2前	1								兼1	
小計 (7科目)	-	0	7	0	2	1	0	0	0	0	兼6	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	小計 (5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2			1					兼1
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	1前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	小計 (5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	0	兼4
人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1	
	脳科学と心	1後	2								兼1	
	生物と栄養	1後	2								兼1	
	環境の科学	2後	2								兼1	
小計 (4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4	
しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1					兼10	
	しまね文化論	1後	2			1					兼1	
	しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1	
	小計 (3科目)	-	4	1	0	2	0	0	0	0	0	兼11
体育	健康スポーツ概論	1後	1								兼1	
	健康スポーツ I	1前	1								兼1	
	健康スポーツ II	1後	1								兼1	
	健康スポーツ III	2前	1								兼1	
	小計 (4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼4
外国語	基礎中国語	1前	1								兼1	
	中国語	1後	1								兼1	
	基礎韓国語	1前	1								兼1	
	韓国語	1後	1								兼1	
	基礎タイ語	1前	1			1					兼1	
	タイ語	1後	1			1					兼1	
	基礎インドネシア語	1前	1			1					兼1	
	インドネシア語	1後	1			1					兼1	
小計 (8科目)	-	0	8	0	0	2	0	0	0	0	兼4	
小計 (29科目)	-	4	41	0	2	3	0	0	0	0	兼26	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナー I	1前	1		7	7	4				
		スタートアップセミナー II	1後	1		7	7	4				
		キャリアデザイン I	1後	1		1						
		キャリアデザイン II	2前	1		1						
		キャリアデザイン III	3前	1		1						
		インターンシップ	2通	1		1						
	小計 (6科目)	-	4	2	0	7	7	4	0	0	0	
	リテラシー	総合英語 I (多読)	1前	1			1					兼1
総合英語 II (リスニング)		1前	1		1						兼1	
総合英語 III (リーディング)		1後	1		1						兼1	
総合英語 IV (英会話)		1後	1			1					兼1	
実践英語 I (TOEIC対策)		1前	1								兼1	
実践英語 II (TOEIC対策)		1後	1								兼1	
実践英語 III (観光英検英語)		2前	1								兼1	
小計 (7科目)	-	0	7	0	2	1	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科基礎科目	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1									兼2	
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1									兼2	
	情報サービス論	2後	2			1							
	情報サービス演習	3前	1			1							
	情報検索	2前	1									兼1	
	情報技術論	3前	2			1							
	情報メディアの活用	3後	2			1							
	小計(7科目)	-	2	8	0	0	2	0	0	0	0	0	兼3
小計(20科目)	-	6	17	0	7	6	5	0	0	0	0	兼9	
専門基礎科目	入門	地域文化入門	1前	1			7	6	5				
		小計(1科目)	-	1	0	0	7	6	5	0	0		
	文化の発見	地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	1後	2									兼1
		地域文化論Ⅱ(出雲)	1前	2		1		2					兼2
		地域文化論Ⅲ(山陰)	1後	2				1					
		地域文化論Ⅳ(地域資源)	1後	2			1						
	小計(4科目)	-	2	6	0	1	1	3	0	0		兼3	
	文化の体験	しまね文学探訪	1前	2		1							兼1
		しまね歴史探訪	1後	2				1					
		しまね民俗探訪	2前	2				1					
		しまねのまちづくり	1・2後	2			1						
		しまね図書館学	2後	2			2						兼2
		読み聞かせの実践	2前	2									兼2
		Kids' English入門	2前	2			1						兼1
		Kids' English	2後	2			1						兼1
	小計(8科目)	-	0	16	0	1	5	2	0	0		兼4	
文化の活用	観光と文化	1前	2			1							
	観光と地域資源	1後	2			1							
	まちづくりと協働	1前	2					1					
	観光まちづくり論	1後	2					1					
	観光まちづくり演習	2前	2					1					
	人と地域の調査法	2前	2									兼1	
	観光フィールドトリップ	3前	2									兼1	
小計(7科目)	-	2	12	0	1	0	1	0	0		兼2		
卒業研究	地域文化プロジェクトⅠ	3通	3			7	6	5					
	地域文化プロジェクトⅡ	4通	3			7	6	5					
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	6	5	0	0			
小計(22科目)	-	11	34	0	7	6	5	0	0	0	0	兼8	
専門科目	日本の文化と歴史	日本文化概論	1前	2				1					
		日本文化論Ⅰ(居住文化)	2前	2			1						
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	2後	2									兼1
		日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	3前	2									兼1
		日本文化論Ⅳ(表象文化)	3後	2									兼1
		日本の歴史Ⅰ(文化史)	2前	2					1				
		日本の歴史Ⅱ(観光史)	2後	2		1							
		日本の歴史Ⅲ(近世)	3前	2					1				
		日本の歴史Ⅳ(近現代)	3後	2									兼1
		古文書を読む	2後	2						1			
		日本文化演習Ⅰ(茶道)	2前	1									兼1
		日本文化演習Ⅱ(華道)	2後	1									兼1
		書道Ⅰ(基礎)	3前	1									兼1
		書道Ⅱ(発展)	3後	1									兼1
		日本文化特殊講義	3前	2									兼1
小計(15科目)	-	2	24	0	1	1	2	0	0	0	0	兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学科基礎科目	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1									兼2	
	コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1									兼2	
	情報サービス論	2後	2					1					
	情報サービス演習	3前	1					1					
	情報検索	2前	1									兼1	
	情報技術論	3前	2					1					
	情報メディアの活用	3後	2					1					
	小計(7科目)	-	2	8	0	0	2	2	0	0	0	0	兼3
小計(20科目)	-	6	17	0	7	7	4	0	0	0	0	兼9	
専門基礎科目	入門	地域文化入門	1前	1			7	7	4				
		小計(1科目)	-	1	0	0	7	7	4	0	0		
	文化の発見	地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	1後	2									兼1
		地域文化論Ⅱ(出雲)	1前	2		1		2					兼2
		地域文化論Ⅲ(山陰)	1後	2					1				
		地域文化論Ⅳ(地域資源)	1後	2					1				
	小計(4科目)	-	2	6	0	1	3	1	0	0		兼3	
	文化の体験	しまね文学探訪	1前	2			1						兼1
		しまね歴史探訪	1後	2					1				
		しまね民俗探訪	2前	2						1			
		しまねのまちづくり	1後~2前	2					1				
		しまね図書館学	2後	2					1	1			
		読み聞かせの実践	2前	2									兼2
		Kids' English入門	2前	2					1				兼1
		Kids' English	2後	2					1				兼1
	小計(8科目)	-	0	16	0	1	4	2	0	0	0	0	兼4
文化の活用	観光と文化	1前	2			1							
	観光と地域資源	1後	2			1							
	まちづくりと協働	1前	2						1				
	観光まちづくり論	1後	2						1				
	観光まちづくり演習	2前	2						1				
	人と地域の調査法	2前	2									兼1	
	観光フィールドトリップ	3前	2									兼1	
小計(7科目)	-	2	12	0	1	0	1	0	0	0	0	兼2	
卒業研究	地域文化プロジェクトⅠ	3通	3			7	7	4					
	地域文化プロジェクトⅡ	4通	3			7	7	4					
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	7	4	0	0	0	0	
小計(22科目)	-	11	34	0	7	7	4	0	0	0	0	兼8	
専門科目	日本の文化と歴史	日本文化概論	1前	2					1				
		日本文化論Ⅰ(居住文化)	2前	2			1						
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	2後	2									兼1
		日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	3前	2									兼1
		日本文化論Ⅳ(表象文化)	3後	2									兼1
		日本の歴史Ⅰ(文化史)	2前	2					1				
		日本の歴史Ⅱ(観光史)	2後	2		1							
		日本の歴史Ⅲ(近世)	3前	2						1			
		日本の歴史Ⅳ(近現代)	3後	2									兼1
		古文書を読む	2後	2							1		
		日本文化演習Ⅰ(茶道)	2前	1									兼1
		日本文化演習Ⅱ(華道)	2後	1									兼1
		書道Ⅰ(基礎)	3前	1									兼1
		書道Ⅱ(発展)	3後	1									兼1
		日本文化特殊講義	3前	2									兼1
小計(15科目)	-	2	24	0	1	2	1	0	0	0	0	兼8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	日本語	日本語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								兼1	
		日本語文法論	3前	2		1							
		日本語史	3後	2								兼1	
		地域とことば	3前	2		1							
		対照文法	3後	2		1							
		日本語学演習Ⅰ	3・4前	2		1							
		日本語学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1	
		日本語学特殊講義	3後	2								兼1	
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	兼3	
	日本文化	日本の文学	日本文学史Ⅰ(古典)	2前	2				1				
			日本文学史Ⅱ(近代)	2後	2		1						
			古典文学Ⅰ(神話と伝説)	2後	2				1				
			古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)	3前	2				1				
			古典文学Ⅲ(物語と説話)	3後	2								兼1
近代文学Ⅰ(郷土文学)			2前	2		1							
近代文学Ⅱ(小説)			2後	2								兼1	
近代文学Ⅲ(評論)			2後	2				1					
近代文学Ⅳ(絵本と童話)			3前	2		1							
近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)		3後	2								兼1		
古典文学演習Ⅰ		3・4前	2				1						
古典文学演習Ⅱ		3・4前	2				1						
近代文学演習Ⅰ		3・4前	2		1								
近代文学演習Ⅱ		3・4前	2								兼1		
日本文学特殊講義		3前	2								兼1		
小計(15科目)	-	0	30	0	1	0	2	0	0	0	兼5		
国際文化	異文化の理解	文化人類学	1前	2			1						
		ジェンダーと文化	3前	2			1						
		多文化共生論	3後	2			2						
		アメリカ文化論	2後	2								兼1	
		イギリス文化論	3後	2								兼1	
		ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)	3前	2								兼1	
		ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)	3後	2								兼1	
		アジア文化論Ⅰ(東南アジア)	2後	2			1						
		アジア文化論Ⅱ(東アジア)	3前	2								兼1	
	アジアの歴史(東南アジア)	2前	2			1							
	アジア文化研修計画	2・3後	1			1							
	アジア文化研修	2・3後	2			1							
	国際文化特殊講義	3後	2								兼1		
	小計(13科目)	-	2	23	0	0	2	0	0	0	0	兼6	
	英語とコミュニケーション	英語学概論Ⅰ	2前	2		1							
英語学概論Ⅱ		2後	2		1								
英語学演習Ⅰ		3前	2								兼1		
英語学演習Ⅱ		3後	2		1								
英語音声学		2後	2								兼1		
英文法Ⅰ		3前	2		1								
英文法Ⅱ		3後	2		1								
英語学特殊講義		3後	2								兼1		
英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)		2前	2								兼1		
英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級)		2後	2								兼1		
パラグラフ・ライティング	2前	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	日本語	日本語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								兼1	
		日本語文法論	3前	2		1							
		日本語史	3後	2								兼1	
		地域とことば	3前	2		1							
		対照文法	3後	2		1							
		日本語学演習Ⅰ	3・4前	2		1							
		日本語学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1	
		日本語学特殊講義	3後	2								兼1	
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	兼3	
	日本文化	日本の文学	日本文学史Ⅰ(古典)	2前	2				1				
			日本文学史Ⅱ(近代)	2後	2			1					
			古典文学Ⅰ(神話と伝説)	2後	2				1				
			古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)	3前	2				1				
			古典文学Ⅲ(物語と説話)	3後	2								兼1
近代文学Ⅰ(郷土文学)			2前	2					1				
近代文学Ⅱ(小説)			2後	2								兼1	
近代文学Ⅲ(評論)			2後	2						1			
近代文学Ⅳ(絵本と童話)			3前	2		1							
近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)		3後	2								兼1		
古典文学演習Ⅰ		3・4前	2				1						
古典文学演習Ⅱ		3・4前	2				1						
近代文学演習Ⅰ		3・4前	2		1								
近代文学演習Ⅱ		3・4前	2								兼1		
日本文学特殊講義		3前	2								兼1		
小計(15科目)	-	0	30	0	1	1	1	0	0	0	兼5		
国際文化	異文化の理解	文化人類学	1前	2			1						
		ジェンダーと文化	3前	2			1						
		多文化共生論	3後	2			2						
		アメリカ文化論	2後	2								兼1	
		イギリス文化論	3後	2								兼1	
		異文化コミュニケーション論	2後	2								兼1	
		ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)	3前	2								兼1	
		ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)	3後	2								兼1	
		アジア文化論Ⅰ(東南アジア)	2後	2			1						
	アジア文化論Ⅱ(東アジア)	3前	2								兼1		
	アジアの歴史(東南アジア)	2前	2			1							
	アジア文化研修計画	2・3後	1			1							
	アジア文化研修	2・3後	2			1							
	国際文化特殊講義	3後	2								兼1		
	小計(14科目)	-	2	25	0	0	2	0	0	0	0	兼7	
英語とコミュニケーション	英語学概論Ⅰ	2前	2		1								
	英語学概論Ⅱ	2後	2		1								
	英語学演習Ⅰ	3前	2								兼1		
	英語学演習Ⅱ	3後	2		1								
	英語音声学	2後	2								兼1		
	英文法Ⅰ	3前	2		1								
	英文法Ⅱ	3後	2		1								
	英語学特殊講義	3後	2								兼1		
	英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)	2前	2								兼1		
	英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級)	2後	2								兼1		
パラグラフ・ライティング	2前	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	国際文化 英語とコミュニケーション	エッセイ・ライティング	2後	2			1					兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	3前	2			1						
		英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	3後	2									
		メディア英語Ⅰ(基礎)	2前	2			1						
		メディア英語Ⅱ(発展)	2後	2			1						
		メディア英語リスニング	3前	2			1						
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1									兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2									兼1
		小計(19科目)	-	0	37	0	3	1	0	0	0		0
	海外の文学	イギリス文学史	2前		2			1				兼1	
		アメリカ文学史	2後		2								
		イギリスの文学と文化Ⅰ	2後		2			1					
		イギリスの文学と文化Ⅱ	3前		2			1					
		アメリカの文学と文化Ⅰ	3前		2								兼1
		アメリカの文学と文化Ⅱ	3後		2								兼1
		中国古典Ⅰ(基礎)	3前		2								兼1
		中国古典Ⅱ(発展)	3後		2								兼1
		英米文学特殊講義	4前		2								兼1
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	兼5	
小計(80科目)	-	4	150	0	6	4	4	0	0	0	兼32		
資格・免許科目	教職の意義	現代教職論	2前			2	1						
		小計(1科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0		
	基礎理論	教育原理	2前			2	1						
		教育心理学	2後			2						兼1	
		教育経営論	2後			2						兼1	
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	兼2	
	教職に関する科目	教育課程論	3前			2						兼1	
		道徳の指導法	3後			2						兼1	
		国語科教育法Ⅰ	2前			2			1				
		国語科教育法Ⅱ	2後			2						兼1	
		国語科教育法Ⅲ	3前			2						兼1	
		国語科教育法Ⅳ	3後			2			1				
		英語科教育法Ⅰ	2前			2	1					兼1	
		英語科教育法Ⅱ	2後			2						兼1	
		英語科教育法Ⅲ	3前			2						兼1	
		英語科教育法Ⅳ	3後			2	1						
		特別活動の指導法	2前			2						兼1	
		教育方法学	2後			2						兼1	
	小計(12科目)	-	0	0	24	1	0	1	0	0	0	兼6	
	生徒指導	生徒・進路指導の理論と方法	4前			2						兼1	
		教育相談	4前			2						兼1	
小計(2科目)	-	0	0	4	0	0	0	0	0	0	兼2		
教育実習	教育実習事前事後指導	4前			1	1		1					
	教育実習Ⅰ	4前			2	1		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2	1		1					
	小計(3科目)	-	0	0	5	1	0	1	0	0			
教職実践	教職実践演習(中・高)	4後			2	1		1					
	小計(1科目)	-	0	0	2	1	0	1	0	0			
図書館に関する科目	図書館サービス概論	2前			2						兼1		
	図書館制度・経営論	3前			2		1						
	情報サービス特論	4前			2		2						
	図書館実習	3通			2		2						
	小計(4科目)	-	0	0	8	0	2	0	0	0	0	兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	国際文化 英語とコミュニケーション	エッセイ・ライティング	2後	2			1					兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	3前	2			1						
		英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	3後	2									
		メディア英語Ⅰ(基礎)	2前	2			1						
		メディア英語Ⅱ(発展)	2後	2			1						
		メディア英語リスニング	3前	2			1						
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1									兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2									兼1
		小計(19科目)	-	0	37	0	3	1	0	0	0		0
	海外の文学	イギリス文学史	2前		2			1				兼1	
		アメリカ文学史	2後		2								
		イギリスの文学と文化Ⅰ	2後		2			1					
		イギリスの文学と文化Ⅱ	3前		2			1					
		アメリカの文学と文化Ⅰ	3前		2								兼1
		アメリカの文学と文化Ⅱ	3後		2								兼1
		中国古典Ⅰ(基礎)	3前		2								兼1
		中国古典Ⅱ(発展)	3後		2								兼1
		英米文学特殊講義	4前		2								兼1
	小計(9科目)	-	0	18	0	3	0	0	0	0	0	兼6	
小計(81科目)	-	4	152	0	6	6	2	0	0	0	兼33		
資格・免許科目	教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法	国語科教育法Ⅰ	2前			2			1			兼1	
		国語科教育法Ⅱ	2後			2							
		国語科教育法Ⅲ	3前			2							
		国語科教育法Ⅳ	3後			2			1				
		英語科教育法Ⅰ	2前			2	1						
		英語科教育法Ⅱ	2後			2							
		英語科教育法Ⅲ	3前			2							
		英語科教育法Ⅳ	3後			2	1						
	小計(8科目)	-	0	0	16	1	0	1	0	0	0	兼2	
	教育の基礎的理解 教育の基礎的理解に関する科目等	現代教職論	2前			2	1					兼2	
		教育原理	2前			2	1						
		教育心理学	2後			2							
		教育経営論	2後			2							
		教育課程論	3前			2							
		特別支援教育論	3前			2							
	小計(6科目)	-	0	0	11	1	0	0	0	0	0	兼6	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法等の時	道徳の指導法	3後			2						兼1	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2前			2							
		教育方法学	2後			2							
		生徒・進路指導の理論と方法	4前			2							
		教育相談	4前			2							
小計(5科目)	-	0	0	10	0	0	0	0	0	0	兼8		
教育実践	教育実習事前事後指導	4前			1	1		1			兼1		
	教育実習Ⅰ	4前			2	1		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2	1		1					
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1		1					
小計(4科目)	-	0	0	7	1	0	1	0	0				
図書館に関する科目 図書館経営とサービス	図書館サービス概論	2前			2						兼1		
	図書館制度・経営論	3前			2		1						
	情報サービス特論	4前			2		1	1					
	図書館実習	3通			2		1	1					
	小計(4科目)	-	0	0	8	0	1	1	0	0		0	兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
資格・免許科目	情報資源概論	2前			2		1				
	情報資源組織論	2後			2		1				
	情報資源組織演習Ⅰ	3前			1						兼1
	情報資源組織演習Ⅱ	3後			1						兼1
	小計(4科目)	-	0	0	6	0	2	0	0	0	兼2
	学校図書館論	2後			2		1				
	学校図書館メディアの構成	4前			2		1				
	学習指導と学校図書館	3後			2		1				
	小計(3科目)	-	0	0	6	0	1	0	0	0	
	小計(33科目)	-	0	0	61	2	2	1	0	0	兼13
	合計(184科目)	-	25	242	63	7	6	5	0	0	兼81
	卒業要件及び履修方法										
	<p>【卒業要件】</p> <p>学部共通基礎科目から必修科目4単位を含む19単位以上を履修。            学科基礎科目から必修科目6単位を含む10単位以上を履修。            専門基礎科目から必修科目11単位を含む25単位以上を履修。            専門科目から必修科目4単位を含む60単位以上を履修。</p> <p>【履修方法】</p> <p>次の選択科目を履修すること。            (学部共通基礎科目)            ・「教養科目」から12単位以上を履修。(〔人間と文化〕〔人間と社会〕〔人間と自然〕からそれぞれ4単位以上を履修)            ・「体育」から1単位以上を履修。            ・「外国語」から2単位以上を履修。</p> <p>(学科基礎科目)            ・「言語リテラシー」から3単位以上を履修。(〔総合英語Ⅰ(多読)〕〔総合英語Ⅱ(リスニング)〕〔総合英語Ⅲ(リーディング)〕〔総合英語Ⅳ(英会話)〕から2単位以上、〔実践英語Ⅰ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅱ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅲ(観光英検英語)〕から1単位以上を履修)            ・「情報リテラシー」から3単位以上を履修。</p> <p>(専門基礎科目)            ・「文化の発見」から6単位以上を履修。            ・「文化の体験」から6単位以上を履修。            ・「文化の活用」から6単位以上を履修。</p> <p>(専門科目)            &lt;日本文化コース&gt;            ・「日本文化」から42単位以上履修(「日本の文化と歴史」から〔日本の歴史Ⅰ(文化史)〕2単位を含む10単位以上、「日本語」から〔日本語学概論Ⅰ〕2単位、〔日本語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「日本の文学」から〔日本文学史Ⅰ(古典)〕2単位、〔日本文学史Ⅱ(近代)〕2単位を含む10単位以上履修)。            ・「国際文化」から16単位以上履修。            &lt;国際文化コース&gt;            ・「日本文化」から18単位以上履修。            ・「国際文化」から42単位以上履修(「異文化の理解」から〔アジアの歴史(東南アジア)〕2単位を含む10単位以上、「英語とコミュニケーション」から〔英語学概論Ⅰ〕2単位、〔英語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「海外の文学」から〔イギリス文学史〕2単位、〔アメリカ文学史〕2単位を含む10単位以上履修)。</p> <p>全ての区分から10単位以上を履修し、合計124単位以上を修得すること。            (履修科目の登録の上限:46単位(年間))</p>										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
資格・免許科目	情報資源概論	2前			2		1				
	情報資源組織論	2後			2		1				
	情報資源組織演習Ⅰ	3前			1						兼1
	情報資源組織演習Ⅱ	3後			1						兼1
	小計(4科目)	-	0	0	6	0	1	0	0	0	兼2
	学校図書館論	2前			2				1		
	学校図書館メディアの構成	2後			2				1		
	学習指導と学校図書館	2後			2				1		
	小計(3科目)	-	0	0	6	0	0	1	0	0	
	小計(34科目)	-	0	0	64	2	1	2	0	0	兼22
	合計(186科目)	-	25	244	64	7	7	4	0	0	兼87
	卒業要件及び履修方法										
	<p>【卒業要件】</p> <p>学部共通基礎科目から必修科目4単位を含む19単位以上を履修。            学科基礎科目から必修科目6単位を含む10単位以上を履修。            専門基礎科目から必修科目11単位を含む25単位以上を履修。            専門科目から必修科目4単位を含む60単位以上を履修。</p> <p>【履修方法】</p> <p>次の選択科目を履修すること。            (学部共通基礎科目)            ・「教養科目」から12単位以上を履修。(〔人間と文化〕〔人間と社会〕〔人間と自然〕からそれぞれ4単位以上を履修)            ・「体育」から1単位以上を履修。            ・「外国語」から2単位以上を履修。</p> <p>(学科基礎科目)            ・「言語リテラシー」から3単位以上を履修。(〔総合英語Ⅰ(多読)〕〔総合英語Ⅱ(リスニング)〕〔総合英語Ⅲ(リーディング)〕〔総合英語Ⅳ(英会話)〕から2単位以上、〔実践英語Ⅰ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅱ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅲ(観光英検英語)〕から1単位以上を履修)            ・「情報リテラシー」から3単位以上を履修。</p> <p>(専門基礎科目)            ・「文化の発見」から6単位以上を履修。            ・「文化の体験」から6単位以上を履修。            ・「文化の活用」から6単位以上を履修。</p> <p>(専門科目)            &lt;日本文化コース&gt;            ・「日本文化」から42単位以上履修(「日本の文化と歴史」から〔日本の歴史Ⅰ(文化史)〕2単位を含む10単位以上、「日本語」から〔日本語学概論Ⅰ〕2単位、〔日本語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「日本の文学」から〔日本文学史Ⅰ(古典)〕2単位、〔日本文学史Ⅱ(近代)〕2単位を含む10単位以上履修)。            ・「国際文化」から16単位以上履修。            &lt;国際文化コース&gt;            ・「日本文化」から18単位以上履修。            ・「国際文化」から42単位以上履修(「異文化の理解」から〔アジアの歴史(東南アジア)〕2単位を含む10単位以上、「英語とコミュニケーション」から〔英語学概論Ⅰ〕2単位、〔英語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「海外の文学」から〔イギリス文学史〕2単位、〔アメリカ文学史〕2単位を含む10単位以上履修)。</p> <p>全ての区分から10単位以上を履修し、合計124単位以上を修得すること。            (履修科目の登録の上限:46単位(年間))</p>										

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通基礎科目	人間と文化	哲学	1前	2								兼1
		心理学	1後	2								兼1
		音楽	2前	2								兼1
		文学	2後	2								兼1
		読書と豊かな人間性	2前	2								兼1
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	兼5
	人間と社会	市民社会と図書館	1後	2			1					
		社会学	1後	2								兼1
		現代経済学	1前	2								兼1
		生涯学習概論	2前	2								兼1
		日本国憲法	2後	2								兼1
	小計(5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	0	兼4
	人間と自然	人間と自然	1前	2								兼1
		脳科学と心	1後	2								兼1
		生物と栄養	1後	2								兼1
		環境の科学	2後	2								兼1
	小計(4科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	兼4
	しまねの文化	しまね地域共生学入門	1前	2			1					兼10
		しまね文化論	1後	2			1					
		しまねボランティア研修	1・2通	1								兼1
	小計(3科目)	-	4	1	0	2	0	0	0	0	0	兼11
	体育	健康スポーツ概論	1後	1								兼1
		健康スポーツI	1前	1								兼1
		健康スポーツII	1後	1								兼1
		健康スポーツIII	2前	1								兼1
	小計(4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	兼2
	外国語	基礎中国語	1前	1								兼1
		中国語	1後	1								兼1
		基礎韓国語	1前	1								兼1
韓国語		1後	1								兼1	
基礎タイ語		1前	1			1						
タイ語		1後	1			1						
基礎インドネシア語		1前	1			1						
インドネシア語		1後	1			1						
小計(8科目)	-	0	8	0	0	2	0	0	0	0	兼2	
小計(29科目)	-	4	41	0	2	3	0	0	0	0	兼26	
学科基礎科目	デザイン	スタートアップセミナーI	1前	1			7	5	6			
		スタートアップセミナーII	1後	1			7	5	6			
		キャリアデザインI	1後	1			1					
		キャリアデザインII	2前	1			1					
		キャリアデザインIII	3前	1			1					
		インターンシップ	2通	1			1					
	小計(6科目)	-	4	2	0	7	5	6	0	0	0	
	リテラシー	総合英語I(多読)	1前	1			1					
		総合英語II(リスニング)	1前	1			1					兼1
		総合英語III(リーディング)	1後	1			1					兼1
		総合英語IV(英会話)	1後	1			1					兼1
		実践英語I(TOEIC対策)	1前	1								兼1
実践英語II(TOEIC対策)		1後	1								兼1	
実践英語III(観光英検英語)	2前	1								兼1		
小計(7科目)	-	0	7	0	2	1	0	0	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎科目	情報リテラシー	コンピュータ・リテラシーⅠ	1前	1								兼2
		コンピュータ・リテラシーⅡ	1後	1								兼2
		情報サービス論	2後	2					1			
		情報サービス演習	3前	1					1			
		情報検索	2前	1								兼1
		情報技術論	3前	2				1				
		情報メディアの活用	3後	2				1				
		小計(7科目)	-	2	8	0	0	1	1	0	0	
	小計(20科目)	-	6	17	0	7	5	6	0	0		兼9
	専門基礎科目	入門	地域文化入門	1前	1			7	5	6		
小計(1科目)			-	1	0	0	7	5	6	0	0	
文化の発見		地域文化論Ⅰ(小泉八雲)	1後	2								兼1
		地域文化論Ⅱ(出雲)	1前	2		1		2				兼2
		地域文化論Ⅲ(山陰)	1後	2				1				
		地域文化論Ⅳ(地域資源)	1後	2			1					
		小計(4科目)	-	2	6	0	1	1	3	0	0	
文化の体験		しまね文学探訪	1前	2		1						兼1
		しまね歴史探訪	1後	2				1				
		しまね民俗探訪	2前	2				1				
		しまねのまちづくり	1・2後	2			1					
		しまね図書館学	2後	2			1	1				
		読み聞かせの実践	2前	2								兼2
		Kids' English入門	2前	2			1					
		Kids' English	2後	2			1					兼1
小計(8科目)		-	0	16	0	1	3	3	0	0		兼4
文化の活用		観光と文化	1前	2		1						
		観光と地域資源	1後	2		1						
		まちづくりと協働	1前	2				1				
		観光まちづくり論	1後	2				1				
		観光まちづくり演習	2前	2				1				
		人と地域の調査法	2前	2								兼1
	観光フィールドトリップ	3前	2								兼1	
小計(7科目)	-	2	12	0	1	0	1	0	0		兼2	
卒業研究	地域文化プロジェクトⅠ	3通	3			7	5	6				
	地域文化プロジェクトⅡ	4通	3			7	5	6				
	小計(2科目)	-	6	0	0	7	5	6	0	0		
小計(22科目)	-	11	34	0	7	5	6	0	0		兼8	
専門科目	日本の文化と歴史	日本文化概論	1前	2				1				
		日本文化論Ⅰ(居住文化)	2前	2			1					
		日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	2後	2								兼1
		日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	3前	2								兼1
		日本文化論Ⅳ(表象文化)	3後	2								兼1
		日本の歴史Ⅰ(文化史)	2前	2				1				
		日本の歴史Ⅱ(観光史)	2後	2		1						
		日本の歴史Ⅲ(近世)	3前	2				1				
		日本の歴史Ⅳ(近現代)	3後	2								兼1
		古文書を読む	2後	2					1			
		日本文化演習Ⅰ(茶道)	2前	1								兼1
		日本文化演習Ⅱ(華道)	2後	1								兼1
		書道Ⅰ(基礎)	3前	1								兼1
		書道Ⅱ(発展)	3後	1								兼1
		日本文化特殊講義	3前	2								兼1
小計(15科目)	-	2	24	0	1	1	2	0	0		兼8	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門科目	日本語	日本語学概論Ⅰ	2前	2		1							
		日本語学概論Ⅱ	2後	2								兼1	
		日本語文法論	3前	2		1							
		日本語史	3後	2								兼1	
		地域とことば	3前	2		1							
		対照文法	3後	2		1							
		日本語学演習Ⅰ	3・4前	2		1							
		日本語学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1	
		日本語学特殊講義	3後	2								兼1	
		小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	兼3
	日本文化	日本の文学	日本文学史Ⅰ(古典)	2前	2				1				
			日本文学史Ⅱ(近代)	2後	2		1						
			古典文学Ⅰ(神話と伝説)	2後	2				1				
			古典文学Ⅱ(歌謡と和歌)	3前	2				1				
			古典文学Ⅲ(物語と説話)	3後	2								兼1
			近代文学Ⅰ(郷土文学)	2前	2		1						
			近代文学Ⅱ(小説)	2後	2								兼1
			近代文学Ⅲ(評論)	2後	2				1				
			近代文学Ⅳ(絵本と童話)	3前	2		1						
			近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)	3後	2								兼1
			古典文学演習Ⅰ	3・4前	2				1				
			古典文学演習Ⅱ	3・4前	2				1				
			近代文学演習Ⅰ	3・4前	2		1						
			近代文学演習Ⅱ	3・4前	2								兼1
			日本文学特殊講義	3前	2								兼1
	小計(15科目)	-	0	30	0	1	0	2	0	0	0	兼5	
	国際文化	異文化の理解	文化人類学	1前	2			1					
			ジェンダーと文化	3前	2			1					
			多文化共生論	3後	2			2					
			アメリカ文化論	2後	2								兼1
			イギリス文化論	3後	2								兼1
			ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)	3前	2								兼1
			ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)	3後	2								兼1
アジア文化論Ⅰ(東南アジア)			2後	2			1						
アジア文化論Ⅱ(東アジア)			3前	2								兼1	
アジアの歴史(東南アジア)			2前	2			1						
アジア文化研修計画			2・3後	1			1						
アジア文化研修			2・3後	2			1						
国際文化特殊講義			3後	2								兼1	
小計(13科目)		-	2	23	0	0	2	0	0	0	0	兼6	
英語とコミュニケーション		英語学概論Ⅰ	2前	2		1							
	英語学概論Ⅱ	2後	2		1								
	英語学演習Ⅰ	3前	2								兼1		
	英語学演習Ⅱ	3後	2		1								
	英語音声学	2後	2								兼1		
	英文法Ⅰ	3前	2		1								
	英文法Ⅱ	3後	2		1								
	英語学特殊講義	3後	2								兼1		
	英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)	2前	2								兼1		
	英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級)	2後	2								兼1		
パラグラフ・ライティング	2前	2		1									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	国際文化	エッセイ・ライティング	2後	2			1					兼1	
		英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)	3前	2			1						
		英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	3後	2									
		メディア英語Ⅰ(基礎)	2前	2		1							
		メディア英語Ⅱ(発展)	2後	2		1							
		メディア英語リスニング	3前	2		1							
		アメリカ語学研修計画	1・2前	1									兼1
		アメリカ語学研修	1・2前	2									兼1
		小計(19科目)	-	0	37	0	3	1	0	0	0		0
	海外の文学	イギリス文学史	2前	2		1						兼1	
		アメリカ文学史	2後	2									
		イギリスの文学と文化Ⅰ	2後	2		1							
		イギリスの文学と文化Ⅱ	3前	2		1							
		アメリカの文学と文化Ⅰ	3前	2									兼1
		アメリカの文学と文化Ⅱ	3後	2									兼1
		中国古典Ⅰ(基礎)	3前	2									兼1
		中国古典Ⅱ(発展)	3後	2									兼1
		英米文学特殊講義	4前	2									兼1
	小計(9科目)	-	0	18	0	1	0	0	0	0	0	兼6	
小計(80科目)	-	4	150	0	6	4	4	0	0	0	兼32		
資格・免許科目	教職の意義	現代教職論	2前		2	1							
		小計(1科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0		
	基礎理論	教育原理	2前		2	1							
		教育心理学	2後		2							兼2	
		教育経営論	2後		2							兼1	
		小計(3科目)	-	0	0	6	1	0	0	0	0	兼3	
	教育課程及び指導法	教育課程論	3前		2							兼1	
		道徳の指導法	3後		2							兼1	
		国語科教育法Ⅰ	2前		2			1					
		国語科教育法Ⅱ	2後		2							兼1	
		国語科教育法Ⅲ	3前		2							兼1	
		国語科教育法Ⅳ	3後		2			1					
		英語科教育法Ⅰ	2前		2	1							
		英語科教育法Ⅱ	2後		2							兼1	
		英語科教育法Ⅲ	3前		2							兼1	
		英語科教育法Ⅳ	3後		2	1							
		特別活動の指導法	2前		2							兼1	
		教育方法学	2後		2							兼2	
	小計(12科目)	-	0	0	24	1	0	1	0	0	0	兼7	
	進路指導	生徒・進路指導の理論と方法	4前		2							兼2	
		教育相談	4前		2							兼1	
		小計(2科目)	-	0	0	4	0	0	0	0	0	兼3	
	教育実習	教育実習事前事後指導	4前		1	1		1					
		教育実習Ⅰ	4前		2	1		1					
		教育実習Ⅱ	4前		2	1		1					
		小計(3科目)	-	0	0	5	1	0	1	0	0		
	教職実践	教職実践演習(中・高)	4後		2	1		1					
小計(1科目)		-	0	0	2	1	0	1	0	0			
図書館に関する科目	図書館サービス概論	2前		2							兼1		
	図書館制度・経営論	3前		2		1							
	情報サービス特論	4前		2		1	1						
	図書館実習	3通		2		1	1						
	小計(4科目)	-	0	0	8	0	1	1	0	0	兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
資格・免許科目	情報資源と図書館に関する科目	情報資源概論	2前			2		1					
		情報資源組織論	2後			2		1					
		情報資源組織演習Ⅰ	3前			1							兼1
		情報資源組織演習Ⅱ	3後			1							兼1
		小計(4科目)	-	0	0	6	0	1	0	0	0		兼2
	学校図書館の運営	学校図書館論	2後			2			1				
		学校図書館メディアの構成	4前			2			1				
		学習指導と学校図書館	3後			2			1				
		小計(3科目)	-	0	0	6	0	0	1	0	0		
	小計(33科目)		-	0	0	63	2	1	2	0	0		兼13
	合計(184科目)		-	25	242	63	7	5	6	0	0		兼83

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】  
 学部共通基礎科目から必修科目4単位を含む19単位以上を履修。  
 学科基礎科目から必修科目6単位を含む10単位以上を履修。  
 専門基幹科目から必修科目11単位を含む25単位以上を履修。  
 専門科目から必修科目4単位を含む60単位以上を履修。

【履修方法】  
 次の選択科目を履修すること。  
 (学部共通基礎科目)  
 ・「教養科目」から12単位以上を履修。(〔人間と文化〕〔人間と社会〕〔人間と自然〕からそれぞれ4単位以上を履修)  
 ・「体育」から1単位以上を履修。  
 ・「外国語」から2単位以上を履修。

(学科基礎科目)  
 ・「言語リテラシー」から3単位以上を履修。(〔総合英語Ⅰ(多読)〕〔総合英語Ⅱ(リスニング)〕〔総合英語Ⅲ(リーディング)〕〔総合英語Ⅳ(英会話)〕から2単位以上、〔実践英語Ⅰ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅱ(TOEIC対策)〕〔実践英語Ⅲ(観光英検英語)〕から1単位以上を履修)  
 ・「情報リテラシー」から3単位以上を履修。

(専門基幹科目)  
 ・「文化の発見」から6単位以上を履修。  
 ・「文化の体験」から6単位以上を履修。  
 ・「文化の活用」から6単位以上を履修。

(専門科目)  
 <日本文化コース>  
 ・「日本文化」から42単位以上履修(「日本の文化と歴史」から〔日本の歴史Ⅰ(文化史)〕2単位を含む10単位以上、「日本語」から〔日本語学概論Ⅰ〕2単位、〔日本語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「日本の文学」から〔日本文学史Ⅰ(古典)〕2単位、〔日本文学史Ⅱ(近代)〕2単位を含む10単位以上履修)。  
 ・「国際文化」から16単位以上履修。  
 <国際文化コース>  
 ・「日本文化」から18単位以上履修。  
 ・「国際文化」から42単位以上履修(「異文化の理解」から〔アジアの歴史(東南アジア)〕2単位を含む10単位以上、「英語とコミュニケーション」から〔英語学概論Ⅰ〕2単位、〔英語学概論Ⅱ〕2単位を含む10単位以上、「海外の文学」から〔イギリス文学史〕2単位、〔アメリカ文学史〕2単位を含む10単位以上履修)。

全ての区分から10単位以上を履修し、合計124単位以上を修得すること。  
 (履修科目の登録の上限:46単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・教員資格審査において不可判定を受けた科目について以下のとおり変更
  - ※「准教授1」から「講師1」に変更…「情報サービス論」「情報サービス演習」「学校図書館論」「学校図書館メディアの構成」「学習指導と学校図書館」
  - ※「准教授2」から「准教授1」「講師1」に変更…「しまね図書館学」「情報サービス特論」「図書館実習」
  - ※「准教授6、講師5」から「准教授5、講師6」に変更…「スタートアップセミナーⅠ」「スタートアップセミナーⅡ」「地域文化入門」「地域文化プロジェクトⅠ」「地域文化プロジェクトⅡ」
- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり教員配置を変更
  - ※「兼1」から「兼2」に変更…「教育心理学」「教育方法学」「生徒・進路指導の理論と方法」
- ・兼任教員の変更に伴う配置変更
  - ※「兼11」から「兼10」に変更…「しまね地域共生学入門」

**【令和元年度】**

- ・教職課程再課程認定に伴い科目区分を変更。
- ・専任教員の昇任に伴い教員配置を以下のとおり変更（平成30年度第3回AC教員審査受審済み）。
  - ※「准教授5→7」「講師6→4」に変更…「スタートアップセミナーⅠ」「スタートアップセミナーⅡ」「地域文化入門」「地域文化プロジェクトⅠ」「地域文化プロジェクトⅡ」
  - ※「准教授0→1」「講師1→0」に変更…「しまね歴史探訪」「日本の歴史Ⅰ（文化史）」「日本の歴史Ⅲ（近世）」「古文書を読む」「日本文学史Ⅰ（古典）」「古典文学Ⅰ（神話と伝説）」「古典文学Ⅱ（歌謡と和歌）」「古典文学演習Ⅰ」「古典文学演習Ⅱ」
  - ※「准教授0→2」「講師2→0」に変更…「地域文化論Ⅱ（出雲）」
- ・教職課程再課程認定に伴い以下のとおり変更。
  - ※科目新設…「異文化コミュニケーション論」「特別支援教育論」
  - ※科目内容・科目名称の変更…「特別活動の指導法」→「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」
  - ※科目内容・教員配置の変更…「教育方法学」（兼2→3）
- ・司書教諭資格申請時期（4年次前期）を踏まえ関連する科目の配当年次を以下のとおり変更。
  - ※「学校図書館論」…「2年次後期」から「2年次前期」に変更。
  - ※「学校図書館メディアの構成」…「4年次前期」から「2年次後期」に変更。
  - ※「学習指導と学校図書館」…「3年次後期」から「2年次後期」に変更。
- ・フィールドワーク先確保の事情から科目配当を変更
  - ※「しまねのまちづくり」…「1・2年次後期」から「1年次後期～2年次前期」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	136 科目	33 科目	184 科目	15 科目 [ 0 ]	137 科目 [ 1 ]	34 科目 [ 1 ]	186 科目 [ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{186} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	島根県立大学短期大学 部（必要面積48,416 ㎡）と共用			
	校舎敷地	83,452 ㎡	65,819 ㎡	㎡	149,271 ㎡				
	運動場用地	75,726 ㎡	6,367 ㎡	㎡	82,093 ㎡				
	小 計	159,178 ㎡	72,186 ㎡	㎡	231,364 ㎡				
	そ の 他	63,715 ㎡	30,324 ㎡	㎡	94,039 ㎡				
	合 計	222,893 ㎡	102,510 ㎡	㎡	325,403 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	島根県立大学短期大学 部（必要面積15,537 ㎡）と共用				
	( 30,073 ㎡ )	( 19,608 ㎡ )	( 467 ㎡ )	( 50,148 ㎡ )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	48 室	62 室	43 室	4 室 (補助職員 - 人)	2 室 (補助職員 1 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間文化学部 地域文化学科			18 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	・ 学生の教育環境整備 に伴う図書整備の前倒 しによる図書・雑誌・ 視聴覚資料の増(30) ・ 学生の教育環境整備 に伴う図書整備の前倒 しによる図書・機械・ 器具の増(元)	
	人間文化学部 地域文化学科	78,710 [6,799] (81,980 [7,941]) <del>(79,565 [7,127])</del> -(78,004 [6,738])	15 [2] (19 [1]) <del>(13 [1])</del>	0 [0] (0 [0]) <del>(0 [0])</del>	1674 (1,712) <del>(1,655)</del>	35 (57) <del>(35)</del>	0 ( ) (0)		
	計	78,710 [6,799] (81,980 [7,941]) <del>(79,565 [7,127])</del> -(78,004 [6,738])	15 [2] (19 [1]) <del>(13 [1])</del>	0 [0] (0 [0]) <del>(0 [0])</del>	1674 (1,712) <del>(1,655)</del>	35 (57) <del>(35)</del>	0 ( ) (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	6,047 ㎡	355 席	625,000 冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,033 ㎡	テニスコート7面、ゴルフ練習場10打席、アスレチックルーム1室							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・ 共同研究費増に伴う 教員個人研究費配分額 の減(30) ・ 職位に基づく配分額 の減に伴う教員個人研 究費配分額の減(元)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	692 千円 <del>763 千円</del> 772 千円	772 千円	図書購入費	10,811 千円	4,388 千円 <del>3,681 千円</del> 1,741 千円	7,184 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	共同研究費等	2,000 千円 <del>9,394 千円</del> 8,716 千円	8,716 千円	設備購入費	15,965 千円	135,156 千円 <del>132,296 千円</del> 25,514 千円	1,000 千円	・ 学生の教育環境整備 に伴う図書購入費の増 (30) ・ 学生の教育環境整備 に伴う図書購入費の増 (元)  ・ 法人本部で一括管 理・分配するよう取扱 いの変更になったこと による共同研究費等の 減(元)
		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		県内者 入学生 188 千円 授業料 535.8千円 合 計 723.8千円	535.8千円	535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円	・ 設置団体(県)特殊要 因補助金(施設整備関 係)の増による設備購 入費の増(30) ・ 設置団体(県)特殊要 因補助金(施設整備関 係)の増による設備購 入費の増(元)	
		県外者 入学生 282 千円 授業料 535.8千円 合 計 817.8千円							
学生納付金以外の維持方法の概要			大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	島根県立大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人間文化学部	4	110	3年次 7	454		1.07	-	平成 30年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	
保育教育学科	4	40	3年次 4	168	学士 (保育教育学)	1.08	-	平成 30年度		
地域文化学科	4	70	3年次 3	286	学士 (地域文化学)	1.06	-	平成 30年度		
総合政策学部	4	220	3年次 10	900	学士 (総合政策学)	1.10	-	平成 12年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
総合政策学科	4	220	3年次 10	900	学士 (総合政策学)	1.10	-	平成 12年度		
看護栄養学部	4	120	3年次 9	498		1.03	-	平成 30年度	島根県出雲市西林木 町151	
看護学科	4	80	3年次 6	332	学士 (看護学)	1.03	-	平成 24年度		
健康栄養学科	4	40	3年次 3	166	学士 (健康栄養学)	1.03	-	平成 30年度		
大学院										
北東アジア開発研究科 〔博士前期課程〕	2	10	-	20		0.53	-	平成 21年度	島根県浜田市野原町 2433-2	
北東アジア専攻	2	5	-	10	修士 (社会学)	0.70	-	平成 21年度		
地域開発政策専攻 〔博士後期課程〕	2	5	-	10	修士 (開発研究学)	0.10	-	平成 21年度		
北東アジア超域専攻	3	2	-	6	博士 (社会学)	0.80	-	平成 21年度		
看護学研究科 〔博士前期課程〕	2	5	-	10	修士 (看護学)	1.20	-	平成 28年度	島根県出雲市西林木 町151	
看護学専攻 〔博士後期課程〕	3	2	-	6	博士 (看護学)	1.00	-	平成 31年度		
大学全体	4	469	31	1,894	-	0.96	-	-	-	
大学の名称	島根県立大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
健康栄養学科	2	-	-	-	短期大学士 (健康栄養学)	-	-	平成 19年度	島根県松江市浜乃木 7-24-2	平成30年度より 学生募集停止
保育学科	2	40	-	80	短期大学士 (保育学)	1.04	-	平成 19年度		平成30年度より 入学定員変更(50 →40)
総合文化学科	2	40	-	80	短期大学士 (総合文化学)	1.08	-	平成 19年度		平成30年度より 入学定員変更 (140→40)
大学全体	2	80	-	160	-	1.06	-	-		-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化学部 地域文化学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	教授	小柳 正司 (65(高)) <平成30年4月>	専任	教授	小柳 正司 (65(高)) <平成30年4月>	専任	教授	小柳 正司 (66(高)) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 現代教職論 教育原理 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 現代教職論 教育原理 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 現代教職論 教育原理 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専任	教授	松浦 雄二 (58) <平成30年4月>	専任	教授	松浦 雄二 (58) <平成30年4月>	専任	教授	松浦 雄二 (59) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅲ(リーディング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ パラグラフ・ライティング イギリス文学史 イギリスの文学と文化Ⅰ イギリスの文学と文化Ⅱ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅲ(リーディング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ パラグラフ・ライティング イギリス文学史 イギリスの文学と文化Ⅰ イギリスの文学と文化Ⅱ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅲ(リーディング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ パラグラフ・ライティング イギリス文学史 イギリスの文学と文化Ⅰ イギリスの文学と文化Ⅱ
専任	教授	マユー あき (57) <平成30年4月>	専任	教授	マユー あき (57) <平成30年4月>	専任	教授	マユー あき (58) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅱ(リスニング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅰ 英文法Ⅰ メディア英語Ⅱ(発展) メディア英語リスニング			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅱ(リスニング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅰ 英文法Ⅰ メディア英語Ⅱ(発展) メディア英語リスニング			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅱ(リスニング) 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅰ 英文法Ⅰ メディア英語Ⅱ(発展) メディア英語リスニング
専任	教授	田中 芳文 (57) <平成30年4月>	専任	教授	田中 芳文 (57) <平成30年4月>	専任	教授	田中 芳文 (58) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅱ 英語学演習Ⅱ 英文法Ⅱ メディア英語Ⅰ(基礎) 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅱ 英語学演習Ⅱ 英文法Ⅱ メディア英語Ⅰ(基礎) 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 英語学概論Ⅱ 英語学演習Ⅱ 英文法Ⅱ メディア英語Ⅰ(基礎) 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ
専任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月>	専任	教授	岩田 英作 (54) <平成30年4月>	専任	教授	岩田 英作 (55) <平成30年4月>
		しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ インターンシップ 地域文化入門 ※ しまね文学探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅱ(近代) 近代文学Ⅰ(郷土文学) 近代文学Ⅳ(絵本と童話) 近代文学演習Ⅰ【隔年】			しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ インターンシップ 地域文化入門 ※ しまね文学探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅱ(近代) 近代文学Ⅰ(郷土文学) 近代文学Ⅳ(絵本と童話) 近代文学演習Ⅰ【隔年】			しまね地域共生学入門 ※ スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ インターンシップ 地域文化入門 ※ しまね文学探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅱ(近代) 近代文学Ⅰ(郷土文学) 近代文学Ⅳ(絵本と童話) 近代文学演習Ⅰ【隔年】
専任	教授	高橋 純 (51) <平成30年4月>	専任	教授	高橋 純 (51) <平成30年4月>	専任	教授	高橋 純 (52) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 地域とことば 対照文法 日本語学演習Ⅰ【隔年】			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 地域とことば 対照文法 日本語学演習Ⅰ【隔年】			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ 地域とことば 対照文法 日本語学演習Ⅰ【隔年】
専任	教授	工藤 泰子 (45) <平成30年4月>	専任	教授	工藤 泰子 (45) <平成30年4月>	専任	教授	工藤 泰子 (46) <平成30年4月>
		しまね文化論 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光と文化 観光と地域資源 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅱ(観光史)			しまね文化論 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光と文化 観光と地域資源 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅱ(観光史)			しまね文化論 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光と文化 観光と地域資源 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅱ(観光史)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	増原 善之 (54) <平成30年4月>	専任	准教授	増原 善之 (54) <平成30年4月>	専任	准教授	増原 善之 (55) <平成30年4月>
		基礎タイ語 タイ語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 多文化共生論 アジアの歴史(東南アジア) アジア文化研修計画【隔年】 アジア文化研修【隔年】			基礎タイ語 タイ語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 多文化共生論 アジアの歴史(東南アジア) アジア文化研修計画【隔年】 アジア文化研修【隔年】			基礎タイ語 タイ語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 多文化共生論 アジアの歴史(東南アジア) アジア文化研修計画【隔年】 アジア文化研修【隔年】
専任	准教授	藤居 由香 (47) <平成30年4月>	専任	准教授	藤居 由香 (47) <平成30年4月>	専任	准教授	藤居 由香 (48) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅳ(地域資源) しまねのまちづくり 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化論Ⅰ(居住文化)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅳ(地域資源) しまねのまちづくり 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化論Ⅰ(居住文化)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅳ(地域資源) しまねのまちづくり 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化論Ⅰ(居住文化)
専任	准教授	塩谷 もも (44) <平成30年4月>	専任	准教授	塩谷 もも (44) <平成30年4月>	専任	准教授	塩谷 もも (45) <平成30年4月>
		基礎インドネシア語 インドネシア語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 文化人類学 ジェンダーと文化 多文化共生論 アジア文化論Ⅰ(東南アジア)			基礎インドネシア語 インドネシア語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 文化人類学 ジェンダーと文化 多文化共生論 アジア文化論Ⅰ(東南アジア)			基礎インドネシア語 インドネシア語 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 文化人類学 ジェンダーと文化 多文化共生論 アジア文化論Ⅰ(東南アジア)
専任	准教授	Lange Kriss Alexander (41) <平成30年4月>	専任	准教授	Lange Kriss Alexander (41) <平成30年4月>	専任	准教授	Lange Kriss Alexander (42) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅰ(多読) 総合英語Ⅳ(英会話) 地域文化入門 ※ Kids' English入門 Kids' English 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ エッセイ・ライティング 英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅰ(多読) 総合英語Ⅳ(英会話) 地域文化入門 ※ Kids' English入門 Kids' English 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ エッセイ・ライティング 英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 総合英語Ⅰ(多読) 総合英語Ⅳ(英会話) 地域文化入門 ※ Kids' English入門 Kids' English 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ エッセイ・ライティング 英語プレゼンテーション演習Ⅰ(基礎)
専任	准教授	石井 大輔 (37) <平成30年4月>	専任	准教授	石井 大輔 (37) <平成30年4月>	専任	准教授	石井 大輔 (38) <平成30年4月>
		市民社会と図書館 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報技術論 情報メディアの活用 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 図書館制度論・経営論 情報サービス特論 図書館実習 情報資源概論 情報資源組織論			市民社会と図書館 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報技術論 情報メディアの活用 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 図書館制度論・経営論 情報サービス特論 図書館実習 情報資源概論 情報資源組織論			市民社会と図書館 スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報技術論 情報メディアの活用 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 図書館制度論・経営論 情報サービス特論 図書館実習 情報資源概論 情報資源組織論
専任	准教授	木内 公一郎 (53) <平成30年4月>	専任	講師	木内 公一郎 (53) <平成30年4月>	専任	講師	木内 公一郎 (54) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報サービス論 情報サービス演習 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 情報サービス特論 図書館実習 学校図書館論 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報サービス論 情報サービス演習 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 情報サービス特論 図書館実習 学校図書館論 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 情報サービス論 情報サービス演習 地域文化入門 ※ しまね図書館学 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 情報サービス特論 図書館実習 学校図書館論 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
専任	講師	杉 岳志 (41) <平成30年4月>	専任	講師	杉 岳志 (41) <平成30年4月>	専任	准教授	杉 岳志 (42) <平成30年4月>
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ しまね歴史探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅰ(文化史) 日本の歴史Ⅲ(近世) 古文書を読む			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ しまね歴史探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅰ(文化史) 日本の歴史Ⅲ(近世) 古文書を読む			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ しまね歴史探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本の歴史Ⅰ(文化史) 日本の歴史Ⅲ(近世) 古文書を読む

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	講師	中野 洋平 (38) ＜平成30年4月＞	専任	講師	中野 洋平 (38) ＜平成30年4月＞	専任	講師	中野 洋平 (39) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅲ(山陰) しまね民俗探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化概論			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅲ(山陰) しまね民俗探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化概論			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅲ(山陰) しまね民俗探訪 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文化概論
専任	講師	山村 桃子 (36) ＜平成30年4月＞	専任	講師	山村 桃子 (36) ＜平成30年4月＞	専任	准教授	山村 桃子 (37) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅰ(古典) 古典文学Ⅰ(神話と伝説) 古典文学Ⅱ(歌謡と和歌) 古典文学演習Ⅰ【隔年】 古典文学演習Ⅱ【隔年】			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅰ(古典) 古典文学Ⅰ(神話と伝説) 古典文学Ⅱ(歌謡と和歌) 古典文学演習Ⅰ【隔年】 古典文学演習Ⅱ【隔年】			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 日本文学史Ⅰ(古典) 古典文学Ⅰ(神話と伝説) 古典文学Ⅱ(歌謡と和歌) 古典文学演習Ⅰ【隔年】 古典文学演習Ⅱ【隔年】
専任	講師	竹田 菜耶 (29) ＜平成30年4月＞	専任	講師	石川(竹田) 菜耶 (29) ＜平成30年4月＞	専任	講師	石川(竹田) 菜耶 (30) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ まちづくりと協働 観光まちづくり論 観光まちづくり演習 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ まちづくりと協働 観光まちづくり論 観光まちづくり演習 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ まちづくりと協働 観光まちづくり論 観光まちづくり演習 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ
専任	講師	古賀 洋一 (29) ＜平成30年4月＞	専任	講師	古賀 洋一 (29) ＜平成30年4月＞	専任	講師	古賀 洋一 (30) ＜平成30年4月＞
		スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 近代文学Ⅲ(評論) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 近代文学Ⅲ(評論) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			スタートアップセミナーⅠ スタートアップセミナーⅡ 地域文化入門 ※ 地域文化プロジェクトⅠ 地域文化プロジェクトⅡ 近代文学Ⅲ(評論) 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	長島 玲子 (64) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	井上 千晶 (40) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	三瓶 まり (58) ＜平成31年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	安藤 彰朗 (61) ＜平成30年10月＞	兼任	教授	安藤 彰朗 (61) ＜平成30年10月＞	兼任	教授	安藤 彰朗 (62) ＜平成30年10月＞
		生物と栄養			生物と栄養			生物と栄養
兼任	教授	岸本 強 (61) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	岸本 強 (61) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	岸本 強 (62) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ			しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ			しまね地域共生学入門 ※ 健康スポーツ概論 健康スポーツⅠ 健康スポーツⅡ
兼任	教授	石橋 照子 (59) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	大森 真澄 (56) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	岡安 誠子 (47) ＜平成31年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	高橋 泰道 (57) ＜平成31年10月＞	兼任	教授	高橋 泰道 (57) ＜平成31年10月＞	兼任	教授	高橋 泰道 (58) ＜平成31年10月＞
		環境の科学			環境の科学			環境の科学
兼任	教授	林 秀司 (54) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	林 秀司 (54) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	林 秀司 (55) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	若崎 淳子 (53) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	松本 玄智江 (56) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	細川 優 (62) ＜平成31年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	教授	川中 淳子 (51) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	川中 淳子 (51) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	川中 淳子 (52) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※ 生徒・進路指導の理論と方法			教育相談			教育相談
兼任	准教授	寺田 哲志 (56) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	藤原 真砂 (67) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	藤原 真砂 (68) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	藤原 映久 (48) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	藤原 映久 (48) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	藤原 映久 (49) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	准教授	内山 仁志 (42) ＜平成30年10月＞	兼任	准教授	内山 仁志 (42) ＜平成30年10月＞	兼任	准教授	内山 仁志 (43) ＜平成30年10月＞
		脳科学と心			脳科学と心			脳科学と心
兼任	准教授	橋本 由里 (42) ＜平成31年10月＞	兼任	准教授	橋本 由里 (42) ＜平成31年10月＞	兼任	准教授	橋本 由里 (43) ＜平成31年10月＞
		教育心理学			教育心理学 ※			教育心理学 ※
兼任	講師	前林 英貴 (46) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	前林 英貴 (46) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	前林 英貴 (47) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	講師	齋藤(杉下) 暁子 (42) ＜平成30年4月＞	兼任	教授	八田 典子 (59) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	松尾 哲也 (42) ＜平成31年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※
兼任	講師	松尾 哲也 (41) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	久保田 典男 (45) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授	久保田 典男 (46) ＜平成30年4月＞
		しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※			しまね地域共生学入門 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	山根 かねみ (73) ＜平成31年10月＞ 日本文化演習Ⅱ(華道)
兼任	講師	内田 賢徳 (70) ＜平成32年10月＞ 日本語学特殊講義
兼任	講師	山根 道雄 (65) ＜平成32年10月＞ 近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)
兼任	講師	新倉 健 (66) ＜平成31年4月＞ 音楽
兼任	講師	倉田 隆 (66) ＜平成30年4月＞ 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (65) ＜平成31年4月＞ 読書と豊かな人間性
兼任	講師	大塚 茂 (67) ＜平成30年4月＞ 現代経済学
兼任	講師	岡部 康幸 (66) ＜平成30年4月＞ しまね文学探訪
兼任	講師	福田 景道 (64) ＜平成32年10月＞ 古典文学Ⅲ(物語と説話)
兼任	講師	仲野 寛 (64) ＜平成31年4月＞ 生涯学習概論
兼任	講師	崔 貞美 (61) ＜平成30年4月＞ 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) ＜平成30年4月＞ 人間と自然 国際文化特殊講義
兼任	講師	渡部 知美 (63) ＜平成31年10月＞ アメリカ文学史
兼任	講師	寺本 学 (63) ＜平成31年10月＞ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ
兼任	講師	山根 俊喜 (61) ＜平成32年4月＞ 教育課程論
兼任	講師	福田 哲之 (60) ＜平成32年4月＞ 書道Ⅰ(基礎) 書道Ⅱ(発展)
兼任	講師	吉中 孝志 (59) ＜平成32年10月＞ イギリス文化論
兼任	講師	土江 正司 (59) ＜平成33年4月＞ 教育相談
兼任	講師	中井 誠一 (60) ＜平成30年10月＞ 実践英語Ⅱ(TOEIC対策) 英米文学特殊講義
兼任	講師	田中 俊男 (59) ＜平成31年10月＞ 近代文学Ⅱ(小説)
兼任	講師	金山 富美 (58) ＜平成32年4月＞ ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)
兼任	講師	島田 博司 (59) ＜平成31年10月＞ 教育方法学
兼任	講師	武田 信明 (59) ＜平成31年10月＞ 文学
兼任	講師	飯塚 由美 (58) ＜平成30年10月＞ 心理学 人と地域の調査法
兼任	講師	和泉 澄子 (57) ＜平成31年4月＞ 日本文化演習Ⅰ(茶道)
兼任	講師	竹田 健二 (56) ＜平成32年4月＞ 中国古典Ⅰ(基礎) 中国古典Ⅱ(発展)
兼任	講師	昌子 喜信 (56) ＜平成31年4月＞ 情報検索

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	廣田 佳彦 (61) ＜平成31年10月＞ 教育方法学 ※
兼任	准教授	山田 洋平 (35) ＜平成31年10月＞ 教育心理学 ※
兼任	講師	山根 かねみ (73) ＜平成31年10月＞ 日本文化演習Ⅱ(華道)
兼任	講師	内田 賢徳 (70) ＜平成32年10月＞ 日本語学特殊講義
兼任	講師	山根 道雄 (65) ＜平成32年10月＞ 近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)
兼任	講師	新倉 健 (66) ＜平成31年4月＞ 音楽
兼任	講師	倉田 隆 (66) ＜平成30年4月＞ 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (65) ＜平成31年4月＞ 読書と豊かな人間性
兼任	講師	大塚 茂 (67) ＜平成30年4月＞ 現代経済学
兼任	講師	岡部 康幸 (66) ＜平成30年4月＞ しまね文学探訪
兼任	講師	福田 景道 (64) ＜平成32年10月＞ 古典文学Ⅲ(物語と説話)
兼任	講師	仲野 寛 (64) ＜平成31年4月＞ 生涯学習概論
兼任	講師	崔 貞美 (61) ＜平成30年4月＞ 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	鹿野 一厚 (64) ＜平成30年4月＞ 人間と自然 国際文化特殊講義
兼任	講師	渡部 知美 (63) ＜平成31年10月＞ アメリカ文学史
兼任	講師	寺本 学 (63) ＜平成31年10月＞ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ
兼任	講師	山根 俊喜 (61) ＜平成31年10月＞ 教育課程論 教育方法学 ※
兼任	講師	福田 哲之 (60) ＜平成32年4月＞ 書道Ⅰ(基礎) 書道Ⅱ(発展)
兼任	講師	吉中 孝志 (59) ＜平成32年10月＞ イギリス文化論
兼任	講師	中井 誠一 (60) ＜平成30年10月＞ 実践英語Ⅱ(TOEIC対策) 英米文学特殊講義
兼任	講師	田中 俊男 (59) ＜平成31年10月＞ 近代文学Ⅱ(小説)
兼任	講師	金山 富美 (58) ＜平成32年4月＞ ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)
兼任	講師	武田 信明 (59) ＜平成31年10月＞ 文学
兼任	講師	飯塚 由美 (58) ＜平成30年10月＞ 心理学 人と地域の調査法
兼任	講師	和泉 澄子 (57) ＜平成31年4月＞ 日本文化演習Ⅰ(茶道)
兼任	講師	竹田 健二 (56) ＜平成32年4月＞ 中国古典Ⅰ(基礎) 中国古典Ⅱ(発展)
兼任	講師	昌子 喜信 (56) ＜平成31年4月＞ 情報検索

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	時津 啓 (44) ＜令和元年10月＞ 教育方法学 ※
兼任	准教授	山田 洋平 (36) ＜平成31年10月＞ 教育心理学 ※
兼任	講師	山根 かねみ (74) ＜平成31年10月＞ 日本文化演習Ⅱ(華道)
兼任	講師	内田 賢徳 (71) ＜平成32年10月＞ 日本語学特殊講義
兼任	講師	山根 道雄 (66) ＜平成32年10月＞ 近代文学Ⅴ(詩の鑑賞と創作)
兼任	講師	新倉 健 (67) ＜平成31年4月＞ 音楽
兼任	講師	倉田 隆 (67) ＜平成30年4月＞ 哲学
兼任	講師	天野 佳代子 (66) ＜平成31年4月＞ 読書と豊かな人間性
兼任	講師	大塚 茂 (68) ＜平成30年4月＞ 現代経済学
兼任	講師	岡部 康幸 (67) ＜平成30年4月＞ しまね文学探訪
兼任	講師	福田 景道 (65) ＜平成32年10月＞ 古典文学Ⅲ(物語と説話)
兼任	講師	仲野 寛 (65) ＜平成31年4月＞ 生涯学習概論
兼任	講師	崔 貞美 (62) ＜平成30年4月＞ 基礎韓国語 韓国語
兼任	講師	鹿野 一厚 (65) ＜平成30年4月＞ 人間と自然 国際文化特殊講義
兼任	講師	渡部 知美 (64) ＜平成31年10月＞ アメリカ文学史
兼任	講師	寺本 学 (64) ＜平成31年10月＞ 国語科教育法Ⅱ 国語科教育法Ⅲ
兼任	講師	山根 俊喜 (62) ＜平成31年10月＞ 教育課程論 教育方法学 ※
兼任	講師	福田 哲之 (61) ＜平成32年4月＞ 書道Ⅰ(基礎) 書道Ⅱ(発展)
兼任	講師	吉中 孝志 (60) ＜平成32年10月＞ イギリス文化論
兼任	講師	中井 誠一 (61) ＜平成30年10月＞ 実践英語Ⅱ(TOEIC対策) 英米文学特殊講義
兼任	講師	田中 俊男 (60) ＜平成31年10月＞ 近代文学Ⅱ(小説)
兼任	講師	金山 富美 (59) ＜平成32年4月＞ ヨーロッパ文化論Ⅰ(フランス)
兼任	講師	武田 信明 (60) ＜平成31年10月＞ 文学
兼任	講師	飯塚 由美 (59) ＜平成30年10月＞ 心理学 人と地域の調査法
兼任	講師	和泉 澄子 (58) ＜平成31年4月＞ 日本文化演習Ⅰ(茶道)
兼任	講師	竹田 健二 (57) ＜平成32年4月＞ 中国古典Ⅰ(基礎) 中国古典Ⅱ(発展)
兼任	講師	昌子 喜信 (57) ＜平成31年4月＞ 情報検索

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	小泉 凡 (56) ＜平成30年10月＞	地域文化論Ⅰ(小泉八雲) 日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	兼任	講師	小泉 凡 (56) ＜平成30年10月＞	地域文化論Ⅰ(小泉八雲) 日本文化論Ⅲ(妖怪文化)	兼任	講師	小泉 凡 (57) ＜平成30年10月＞	地域文化論Ⅰ(小泉八雲) 日本文化論Ⅲ(妖怪文化)
兼任	講師	原田 由紀子 (54) ＜平成32年4月＞	情報資源組織演習Ⅰ	兼任	講師	原田 由紀子 (54) ＜平成32年4月＞	情報資源組織演習Ⅰ	兼任	講師	原田 由紀子 (55) ＜平成32年4月＞	情報資源組織演習Ⅰ
兼任	講師	飯塚 登世一 (55) ＜平成30年10月＞	総合英語Ⅲ(リーディング)	兼任	講師	飯塚 登世一 (55) ＜平成30年10月＞	総合英語Ⅲ(リーディング)	兼任	講師	飯塚 登世一 (56) ＜平成30年10月＞	総合英語Ⅲ(リーディング)
兼任	講師	品川 知彦 (54) ＜平成31年10月＞	日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	兼任	講師	品川 知彦 (54) ＜平成31年10月＞	日本文化論Ⅱ(祭礼文化)	兼任	講師	品川 知彦 (55) ＜平成31年10月＞	日本文化論Ⅱ(祭礼文化)
兼任	講師	上野 敬子 (53) ＜平成32年10月＞	ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)	兼任	講師	上野 敬子 (53) ＜平成32年10月＞	ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)	兼任	講師	上野 敬子 (54) ＜平成32年10月＞	ヨーロッパ文化論Ⅱ(ドイツ)
兼任	講師	一盛 真 (54) ＜平成31年4月＞	特別活動の指導法【隔年】	兼任	講師	一盛 真 (54) ＜平成31年4月＞	特別活動の指導法【隔年】	兼任	講師	一盛 真 (55) ＜平成31年4月＞	特別活動の指導法【隔年】
兼任	講師	岡本 千佳子 (53) ＜平成31年4月＞	読み聞かせの実践								
兼任	講師	山本 ユミ (53) ＜平成31年4月＞	健康スポーツⅢ	兼任	講師	山本 ユミ (53) ＜平成31年4月＞	健康スポーツⅢ	兼任	講師	山本 ユミ (54) ＜平成31年4月＞	健康スポーツⅢ
兼任	講師	山根 繁樹 (52) ＜平成32年4月＞	近代文学演習Ⅱ【隔年】	兼任	講師	山根 繁樹 (52) ＜平成32年4月＞	近代文学演習Ⅱ【隔年】	兼任	講師	山根 繁樹 (53) ＜平成32年4月＞	近代文学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	藤永 康政 (51) ＜平成31年10月＞	アメリカ文化論	兼任	講師	藤永 康政 (51) ＜平成31年10月＞	アメリカ文化論	兼任	講師	藤永 康政 (52) ＜平成31年10月＞	アメリカ文化論
兼任	講師	Lieske Carmella Lynn (51) ＜平成31年10月＞	英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級) 英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	兼任	講師	Lieske Carmella Lynn (51) ＜平成31年10月＞	英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級) 英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)	兼任	講師	Lieske Carmella Lynn (52) ＜平成31年10月＞	英語コミュニケーション実践演習Ⅱ(上級) 英語プレゼンテーション演習Ⅱ(発展)
兼任	講師	内藤 忠和 (47) ＜平成32年4月＞	アジア文化論Ⅱ(東アジア)	兼任	講師	内藤 忠和 (47) ＜平成32年4月＞	アジア文化論Ⅱ(東アジア)	兼任	講師	内藤 忠和 (48) ＜平成32年4月＞	アジア文化論Ⅱ(東アジア)
兼任	講師	小原 真子 (47) ＜平成32年4月＞	英語学演習Ⅰ 英語学特殊講義	兼任	講師	小原 真子 (47) ＜平成32年4月＞	英語学演習Ⅰ 英語学特殊講義	兼任	講師	小原 真子 (48) ＜平成32年4月＞	英語学演習Ⅰ 英語学特殊講義
兼任	講師	大野 浩 (47) ＜平成31年4月＞	図書館サービス概論	兼任	講師	大野 浩 (47) ＜平成31年4月＞	図書館サービス概論	兼任	講師	大野 浩 (48) ＜平成31年4月＞	図書館サービス概論
兼任	講師	錦田 剛志 (48) ＜平成30年4月＞	地域文化論Ⅱ(出雲)※	兼任	講師	錦田 剛志 (48) ＜平成30年4月＞	地域文化論Ⅱ(出雲)※	兼任	講師	錦田 剛志 (49) ＜平成30年4月＞	地域文化論Ⅱ(出雲)※
兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) ＜平成30年4月＞	基礎中国語 中国語	兼任	講師	鳥谷 聡子 (47) ＜平成30年4月＞	基礎中国語 中国語	兼任	講師	鳥谷 聡子 (48) ＜平成30年4月＞	基礎中国語 中国語
兼任	講師	後川 知美 (47) ＜平成30年4月＞	実践英語Ⅰ(TOEIC対策) アメリカの文学と文化Ⅰ	兼任	講師	藤吉(後川) 知美 (47) ＜平成30年4月＞	実践英語Ⅰ(TOEIC対策) アメリカの文学と文化Ⅰ	兼任	講師	藤吉(後川) 知美 (48) ＜平成30年4月＞	実践英語Ⅰ(TOEIC対策) アメリカの文学と文化Ⅰ
兼任	講師	岩田 裕子 (45) ＜平成31年4月＞	読み聞かせの実践	兼任	講師	岩田 裕子 (45) ＜平成31年4月＞	読み聞かせの実践	兼任	講師	岩田 裕子 (46) ＜平成31年4月＞	読み聞かせの実践
兼任	講師	玉木 祐子 (44) ＜平成31年4月＞	実践英語Ⅲ(観光英検英語)	兼任	講師	玉木 祐子 (44) ＜平成31年4月＞	実践英語Ⅲ(観光英検英語)	兼任	講師	玉木 祐子 (45) ＜平成31年4月＞	実践英語Ⅲ(観光英検英語)
兼任	講師	渡部 周子 (43) ＜平成32年10月＞	日本文化論Ⅳ(表象文化)	兼任	講師	渡部 周子 (43) ＜平成32年10月＞	日本文化論Ⅳ(表象文化)	兼任	講師	渡部 周子 (44) ＜平成32年10月＞	日本文化論Ⅳ(表象文化)
兼任	講師	百留 康晴 (43) ＜平成32年10月＞	日本語史	兼任	講師	百留 康晴 (43) ＜平成32年10月＞	日本語史	兼任	講師	百留 康晴 (44) ＜平成32年10月＞	日本語史
兼任	講師	小倉 佳代子 (44) ＜平成30年4月＞	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ	兼任	講師	小倉 佳代子 (44) ＜平成30年4月＞	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ	兼任	講師	小倉 佳代子 (45) ＜平成30年4月＞	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	北井 由香 (42) ＜平成32年10月＞	情報資源組織演習Ⅱ	兼任	講師	北井 由香 (42) ＜平成32年10月＞	情報資源組織演習Ⅱ	兼任	講師	北井 由香 (43) ＜平成32年10月＞	情報資源組織演習Ⅱ
兼任	講師	山村 仁朗 (42) ＜平成31年10月＞	日本語学概論Ⅱ 日本語学演習Ⅱ【隔年】	兼任	講師	山村 仁朗 (42) ＜平成31年10月＞	日本語学概論Ⅱ 日本語学演習Ⅱ【隔年】	兼任	講師	山村 仁朗 (43) ＜平成31年10月＞	日本語学概論Ⅱ 日本語学演習Ⅱ【隔年】
兼任	講師	熊丸 真太郎 (42) ＜平成31年10月＞	教育経営論	兼任	講師	熊丸 真太郎 (42) ＜平成31年10月＞	教育経営論	兼任	講師	熊丸 真太郎 (43) ＜平成31年10月＞	教育経営論
兼任	講師	板垣 貴志 (40) ＜平成32年10月＞	日本の歴史Ⅳ(近現代)	兼任	講師	板垣 貴志 (40) ＜平成32年10月＞	日本の歴史Ⅳ(近現代)	兼任	講師	板垣 貴志 (41) ＜平成32年10月＞	日本の歴史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	片寄 梅ガン (40) ＜平成31年10月＞	Kids' English	兼任	講師	片寄 梅ガン (40) ＜平成31年10月＞	Kids' English	兼任	講師	片寄 梅ガン (41) ＜平成31年10月＞	Kids' English
兼任	講師	木場 貴俊 (39) ＜平成32年4月＞	日本文化特殊講義	兼任	講師	木場 貴俊 (39) ＜平成32年4月＞	日本文化特殊講義	兼任	講師	木場 貴俊 (40) ＜平成32年4月＞	日本文化特殊講義
兼任	講師	猫田 英伸 (40) ＜平成31年10月＞	英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ	兼任	講師	猫田 英伸 (40) ＜平成31年10月＞	英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ	兼任	講師	猫田 英伸 (41) ＜平成31年10月＞	英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	Dixon Heather Marie (40) ＜平成30年10月＞	兼任	講師	Dixon Heather Marie (40) ＜平成30年10月＞	兼任	講師	Dixon Heather Marie (41) ＜平成30年10月＞
		総合英語Ⅳ(英会話) 英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)			総合英語Ⅳ(英会話) 英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)			総合英語Ⅳ(英会話) 英語コミュニケーション実践演習Ⅰ(中級)
兼任	講師	Dustin John Kidd (40) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	Dustin John Kidd (40) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	Dustin John Kidd (41) ＜平成30年4月＞
		地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光フィールドトリップ アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修			地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光フィールドトリップ アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修			地域文化論Ⅱ(出雲) ※ 観光フィールドトリップ アメリカ語学研修計画 アメリカ語学研修
兼任	講師	加藤 暢恵 (39) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	加藤 暢恵 (39) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	加藤 暢恵 (40) ＜平成30年4月＞
		コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ			コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ
兼任	講師	大坪 亮介 (37) ＜平成32年4月＞	兼任	講師	大坪 亮介 (37) ＜平成32年4月＞	兼任	講師	大坪 亮介 (38) ＜平成32年4月＞
		日本文学特殊講義			日本文学特殊講義			日本文学特殊講義
兼任	講師	宮澤 文雄 (36) ＜平成32年10月＞	兼任	講師	宮澤 文雄 (36) ＜平成32年10月＞	兼任	講師	宮澤 文雄 (37) ＜平成32年10月＞
		アメリカの文学と文化Ⅱ			アメリカの文学と文化Ⅱ			アメリカの文学と文化Ⅱ
兼任	講師	塩津 英樹 (36) ＜平成32年10月＞	兼任	講師	塩津 英樹 (36) ＜平成32年10月＞	兼任	講師	塩津 英樹 (37) ＜平成32年10月＞
		道徳の指導法			道徳の指導法			道徳の指導法
兼任	講師	竹中 裕貴 (36) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	竹中 裕貴 (36) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	竹中 裕貴 (37) ＜平成30年4月＞
		総合英語Ⅱ(リスニング) 英語音声学			総合英語Ⅱ(リスニング) 英語音声学			総合英語Ⅱ(リスニング) 英語音声学
兼任	講師	黒澤 修一郎 (34) ＜平成31年10月＞	兼任	講師	黒澤 修一郎 (34) ＜平成31年10月＞	兼任	准教授	谷口 智紀 (36) ＜平成31年4月＞
		日本国憲法			日本国憲法			日本国憲法
兼任	講師	片岡 佳美 (47) ＜平成30年10月＞	兼任	講師	片岡 佳美 (47) ＜平成30年10月＞	兼任	講師	片岡 佳美 (48) ＜平成30年10月＞
		社会学			社会学			社会学
兼任	講師	加藤 泰寛 (44) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	目次 和恵 (49) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	高橋 伊尚 (43) ＜平成31年4月＞
		しまねボランティア研修			しまねボランティア研修			しまねボランティア研修
			兼任	講師	竹内 和雄 (49) ＜平成33年4月＞	兼任	講師	竹内 和雄 (50) ＜平成33年4月＞
					生徒・進路指導の理論と方法 ※			生徒・進路指導の理論と方法 ※
			兼任	講師	坂柳 恒夫 (61) ＜平成33年4月＞	兼任	講師	坂柳 恒夫 (62) ＜平成33年4月＞
					生徒・進路指導の理論と方法 ※			生徒・進路指導の理論と方法 ※
						兼任	講師	浜田 幸絵 (34) ＜令和2年10月＞
								異文化コミュニケーション論
			兼任	講師		兼任	講師	深見 俊崇 (42) ＜令和元年10月＞
								教育方法学 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の過年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・設置申請時の教員審査判定結果により木内公一郎氏の職位変更（准教授→講師） ※平成29年12月AC教員審査済み。
- ・教員の氏名の姓の変更
  - ※竹田茉耶→石川茉耶
  - ※後川知美→藤吉知美
- ・「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。
  - ※兼担教授・長島玲子→兼担准教授・井上千晶
  - ※兼担教授・石橋照子→兼担准教授・大森真澄
  - ※兼担教授・若崎淳子→兼担准教授・松本玄智江
  - ※兼担講師・齋藤(杉下)暁子→兼担教授・八田典子
  - ※兼担准教授・寺田哲志、兼担教授・川中淳子→兼担教授・藤原真砂
  - ※兼担講師・松尾哲也→兼担准教授・久保田典男
- ・非常勤講師の就任辞退に伴う変更。
  - ※「しまねボランティア研修」…兼任講師・加藤泰寛→兼任講師・目次和恵
  - ※「読み聞かせの実践」…兼任講師・岡本千佳子→講義開始までに後任(兼任講師)を補充予定
- ・教職課程認定申請の審査結果により以下のとおり担当者を変更
  - ※「教育心理学」…兼担准教授・橋本由里→兼担准教授・橋本由里、兼担准教授・山田洋平
  - ※「教育相談」…兼任講師・土江正司→兼担教授・川中淳子
  - ※「教育方法学」…兼任講師・島田博司→兼担教授・廣田佳彦、兼任講師・山根俊喜
  - ※「生徒・進路指導の理論と方法」…兼担教授・川中淳子→兼任講師・竹内和雄、兼任講師・坂柳恒夫

【令和元年度】

- ・専任教員の昇任（平成30年度第3回AC教員審査済み）。
  - ※杉 岳志…講師→准教授
  - ※山村桃子…講師→准教授
- ・「しまね地域共生学入門」の兼任教員の変更。
  - ※兼担准教授・井上千晶→兼担教授・三瓶まり
  - ※兼担准教授・大森真澄→兼担准教授・岡安誠子
  - ※兼担准教授・松本玄智江→兼担准教授・細川優
  - ※兼担教授・八田典子→兼担准教授・松尾哲也
- ・「教育方法学」担当教員の変更（兼担教授・廣田佳彦→兼担教授・時津啓、兼任講師・深見俊崇。廣田氏の退職に伴う採用）。
- ・教職課程再課程認定に伴い以下のとおり変更。
  - ※兼任講師・浜田幸絵の採用…「異文化コミュニケーション論」
  - ※兼担准教授・西村健一、兼担准教授・内山仁志の採用…「特別支援教育論」
- ・兼任講師の就任辞退に伴う変更。
  - ※「しまねボランティア研修」…兼任講師・目次和恵→兼任講師・高橋伊尚
  - ※「日本国憲法」…兼任講師・黒澤修一郎→兼任准教授・谷口智紀

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	6	5	0	18	7	5	6	0	18
(7)	(6)	(5)	(0)	(18)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
7	5	6	0	18	7	5	6	0	18
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{18} = \boxed{5.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成29年8月)	教員の補充を必要とされた13授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。(地域文化学科)  <div style="text-align: center; color: red;">留意事項</div>	設置申請時の教員審査判定結果により職位不適格と判定された教員については、平成29年12月のAO教員審査を受審し、講師可として判定を受けた。当該教員が本件13科目を担当する予定であり、履行済みと判断した(30)。  <div style="text-align: center;">履行済</div>	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜人間文化学部 地域文化学科＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

前身である島根県立大学短期大学部から引き続き、FD委員会を設置している。委員会は人間文化学部と併設する短期大学部の教員を委員に含め、全6名で構成している。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は毎月1回（毎月第3水曜日）開催する。平成30年度の開催状況は次のとおり。

#### 【平成30年度FD委員会】

平成30年4月18日：第1回委員会 開催 全委員出席

議題：①平成29年度計画の実績報告、平成30年度計画について

②平成30年度業務分担について

③平成30年度学内外研修について

④授業評価アンケートについて

⑤その他：SD活動について

平成30年5月16日：第2回委員会 開催 全委員出席

議題：①第1回FDセンター全学運営会議について

②平成30年度授業評価アンケートについて

③FD研修の認定について

④その他：SD研修について

平成30年7月18日：第3回委員会 開催 全委員出席

議題：①学内研修について

②平成30年度授業評価アンケートについて

③授業見学について

④その他：出雲キャンパスFD研修会、京都光華女子大学学生FDサミットについて

平成30年9月3日：第4回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①学内研修について

②平成30年度授業評価アンケートについて

③授業見学について

④その他：学生FDサミット2018の報告

平成30年9月19日：第5回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①平成30年度授業評価アンケートについて

②その他：学内研修会のポスター説明

平成30年11月21日：第6回委員会 開催 全委員出席

議題：①平成30年度第1回・第2回学内研修会の振り返りについて

②平成30年度秋学期授業評価アンケートの内容・方法について

③平成31年度当初予算（FD関連）の要求について

④島根県立松江東高等学校の授業公開について

平成30年12月19日：第7回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケートの設問について

②平成31年度当初予算（FD関連）の要求について

③平成30年度計画実績報告について

④その他：授業評価アンケートのスケジュール確認

平成31年2月20日：第8回委員会 開催 全委員出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケートについて

②授業評価アンケート実施規程（案）について

③平成30年度FDセンター年報作成について

④平成30年度予算執行状況について

⑤平成31年度以降の学内体制について

平成31年3月14日：第9回委員会 開催 委員6名中5名出席

議題：①平成30年度秋学期授業評価アンケート結果について

②平成30年度FDセンター年報作成について

③平成30年度FDセンター年報作成について

④平成30年度予算執行状況について

⑤平成31年度以降の学内体制について

c 委員会の審議事項等

所掌事項：①FD研修会実施に関すること

②授業評価アンケート実施に関すること

③教員相互の授業見学実施に関すること

④FD連絡会（③実施後開催する教員同士のディスカッション）に関すること

② 実施状況

a 実施内容

①FD研修会

②授業評価アンケート

③教員相互の授業見学

④FD連絡会

b 実施方法

①FD研修会

FD委員会で企画し、学内教員を対象に実施する

②授業評価アンケート

春学期・秋学期に開講するすべての授業科目を対象に、原則として授業最終日に授業評価アンケートを実施する。アンケート結果は全体と授業別に集計の上、各教員に配付する。教員は後日フィードバックレポートを作成し、学生に公表する。

③教員相互の授業見学

春学期又は秋学期に一定の期間を定め、専任教員が他の専任教員の授業を見学する。見学者は見学後に所定の様式に「良かった点」「自分の授業に取り入れたい点」「工夫すればよくなると考える点」等を記入し、見学した授業担当の専任教員に提出する。

④FD連絡会

③実施後、全専任教員を対象として授業見学を通じての振り返りと、ワークショップを実施し、授業見学から得たことの共有や、授業改善等に関する意見交換を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①FD研修会

第1回 日時：平成30年10月31日

テーマ：教職支援の視点を生かした地方創生支援のあり方

形式：学外講師による講演、ワークショップ

参加者：学内教職員43名

第2回 日時：平成30年11月14日

テーマ：授業見学を通しての振り返りについて

形式：テーマに関するワークショップ

参加者：学内教職員40名

②授業評価アンケート

春学期・秋学期ともに全科目を対象として、最終講義時に実施した。平成30年度の実施率は100%。

③教員相互の授業見学

平成30年10月15日～11月2日の間、各教員が希望する講義について、対象となる教員に事前連絡の上、授業見学を実施した。

④FD連絡会

平成30年11月14日、教員相互で授業見学を通じての振り返りと、ワークショップを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①FD研修会・FD連絡会

第1回研修会においては、学外講師を招いて、教職支援の視点を生かした地方創生支援のあり方に関する講演会を開催し、続けて、当講演内容を踏まえたワークショップを行った。地方創生推進にあたっての大学の役割と課題について議論するなかで、本学教職センターと教職センターを運営していく上での授業のあり方についての方向性を見出す機会となった。

第2回研修会においては、教員相互で実施した授業見学の振り返りについて、ワークショップを行った。他分野の授業の方法を自己の授業に取り入れることは有益ではないかという意見があるなど、分野の異なる教員間で授業見学を実施することは、教員間の相互理解や、より高い質の授業にしていこうとする意識醸成を高めていくことがわかり、授業改善に繋がっていった。

②教員相互の授業見学

授業担当者及び見学者が相互に授業評価を行い、良かった点や自己の授業に取り入れたいこと、提案などについて記載した見学記録を授業担当者へ報告することにより、授業改善に生かしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

春学期・秋学期ともに全科目を対象として、最終講義時に実施。平成30年度の実施率は100%。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果の集計・分析を行い、フィードバックレポートを作成し、教職員で共有した。

また、学生に対しては、学生情報システムによってフィードバックレポートを公開した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 1. 人間文化学部の設置の趣旨・目的

##### ■人間文化学部の教育研究上の理念

人間文化学部は、人間形成及び人間によって歴史的に創出・形成されてきた文化について探究し、地域社会と連携した実践的で学術的な教育研究を推進する。地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材を育成することを通して、関連する学術分野の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とする。

##### 【地域文化学科】

地域文化学科は、島根の文化をはじめ、日本及び海外の諸文化について、歴史や語学、文学などの様々な観点から教育研究を推進し、地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材を育成することを通して、地域文化の継承と発展に寄与することを教育研究上の目的とする。

##### ■人間文化学部の育成する人材像

人間文化学部は、教育研究上の目的に掲げる「地域における文化の発見と継承、再生に取り組み、地域で活躍できる実践力を兼ね備えた人材」を育成する。

##### 【地域文化学科】

地域文化学科は、「地域の文化を基盤としてグローバルな視点で文化の諸相を捉えることのできる広い視野と寛容の精神を備え、人々と協働しながら文化の活性化に取り組む態度を身に付けた人材」を育成する。

#### 2. 達成状況に関する総括評価・所見

第2期生となる平成31年度入学者選抜試験において、地域文化学科では以下のアドミッションポリシーを掲げて入学者選抜を実施した。

##### [知識・技能]

文化に関する様々な分野からの専門的な学びを深めていくために必要な基礎的な学力を有している人

##### [思考力・判断力・表現力]

広い視野から事象を見て、自ら見出した課題を主体的に考え、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

##### [関心・意欲・態度]

地域の文化から日本、海外諸地域の文化まで多様な視点から文化について学び、学んだことを地域において還元し、社会に貢献していこうとする強い意欲を有している人

平成31年度入試では、定員70名に対して322名(昨年度215名)の出願(出願倍率4.6倍)があり76名が入学した。志願者の出身は19都府県(昨年度22府県)におよび、広い範囲から志願者を獲得することができた。大学間競争が激しくなる中で、昨年度に引き続き、全国から多数の出願者・受験者があったことは、本学の教育研究理念や育成する人材像が社会的に高い関心をもたれている証であると考えられる。

上記人材を育成するため、カリキュラムポリシーに基づき編成した教育課程において、令和元年度に開講すべき科目は全て計画通り開講している。

地域社会に貢献できる保育・教育職を目指す教育課程において、履修計画を着実に実行に移していくことができるよう、全学「教職センター」を松江キャンパスに開設して、学科専任教員のみならず、「教職センター」運営会議教員並びに専門スタッフのサポートにより、きめ細かな学習支援体制を整えている。

専任教員については、産前産後及び育児休暇(令和元年8月～2年8月まで)を取得予定の教員が1名おり、担当科目2科目については、学生の学びの順序性に支障がないことを確認の上、開講すべき年度内での開設時期の変更で対応予定である。

1期生の2年次でのコース選択(コース:専攻ではなく履修の比重のかけ方の違いを意味する)については、日本文化コースを51名、国際文化コースを23名が希望したが、2.5倍以上の差はなかったため調整は行わず、学生の希望通りのコース履修を進めている。2年次から学びが始まる免許・資格については、関心のある学生への情報提供の場として、1年次に懇談会及びガイダンスを実施し、教員免許取得を18名(国語10名、英語8名)、司書資格取得を22名が目指すこととなり、関連科目の履修を始めている。

障がいのある学生の入学にあたっては、障がい学生支援委員会の下に学生ごとの個別支援チームを設置し、

修学支援を円滑に実施するため、保護者、行政及び介護事業者等との連携を密にとりながら、支援を進めている。

校舎については、1号館・2号館については平成29年度中にバリアフリー化、設備更新、用途変更等の工事を計画通り実施した。3号館については平成30年度中にバリアフリー化、設備更新等の工事を実施した。図書館棟についても、計画通り平成30年度中の竣工を完了した。

以上のとおり、専任教員配置計画において計画を変更した部分があるが、本学部・学科の設置計画の達成状況は概ね計画通りであると考えている。

## ② 自己点検・評価報告書

### a 公表（予定）時期

毎年度、中期計画及び年度計画に対する自己点検評価を行い、業務実績報告書を作成している。

前身となる島根県立大学短期大学部は、平成23年度に自己点検・評価報告書を作成し、財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、適合の判定を受けている。適合期間の満了を迎えるため、平成30年度に同協会による認証評価を受審し、適合と認定された。

島根県立大学は、短期大学部同様に財団法人大学基準協会から認証評価の適合判定を受けている。今後、令和2年3月末をもって適合期間が満了するため、現在、同協会による認証評価を受審申請中である。

### b 公表方法

自己点検・評価の内容は大学ホームページ上で公開する。

## ③ 認証評価を受ける計画

令和元年度に財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、学内で準備を進め、現在、同協会による認証評価を受審申請中である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

## （5）情報公表に関する事項

### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年12月末日までの公表を予定 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。